唐土訓蒙圖彙　自三至五

目次

巻之三　宮室之部
宮殿樓臺城郭屋舎類
巻之四　人物之部
古昔君臣佛仙戎狄類
巻之五　人物之部
明清人物諸蛮神怪類

030 M86

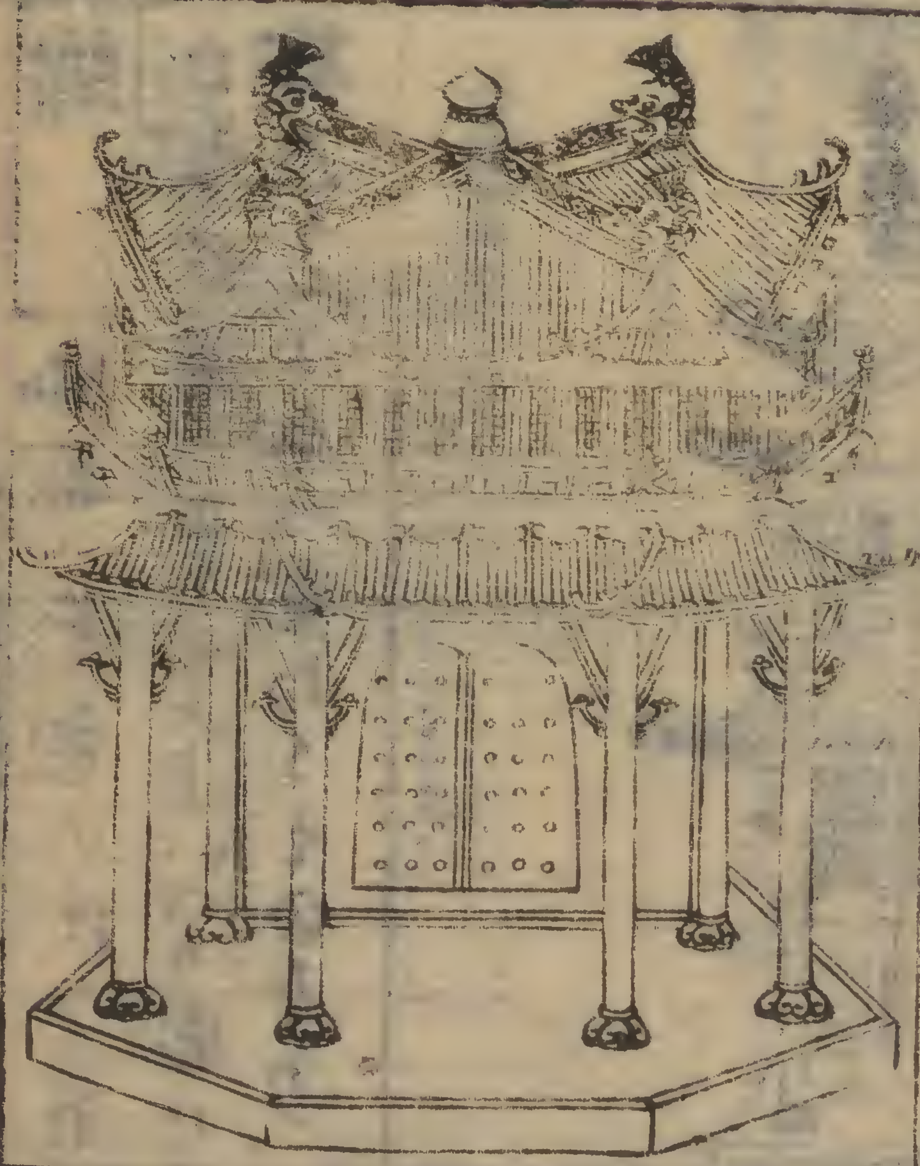
4785 MOROKOSHI KUNMŌ ZUI

唐土訓蒙圖彙巻之三

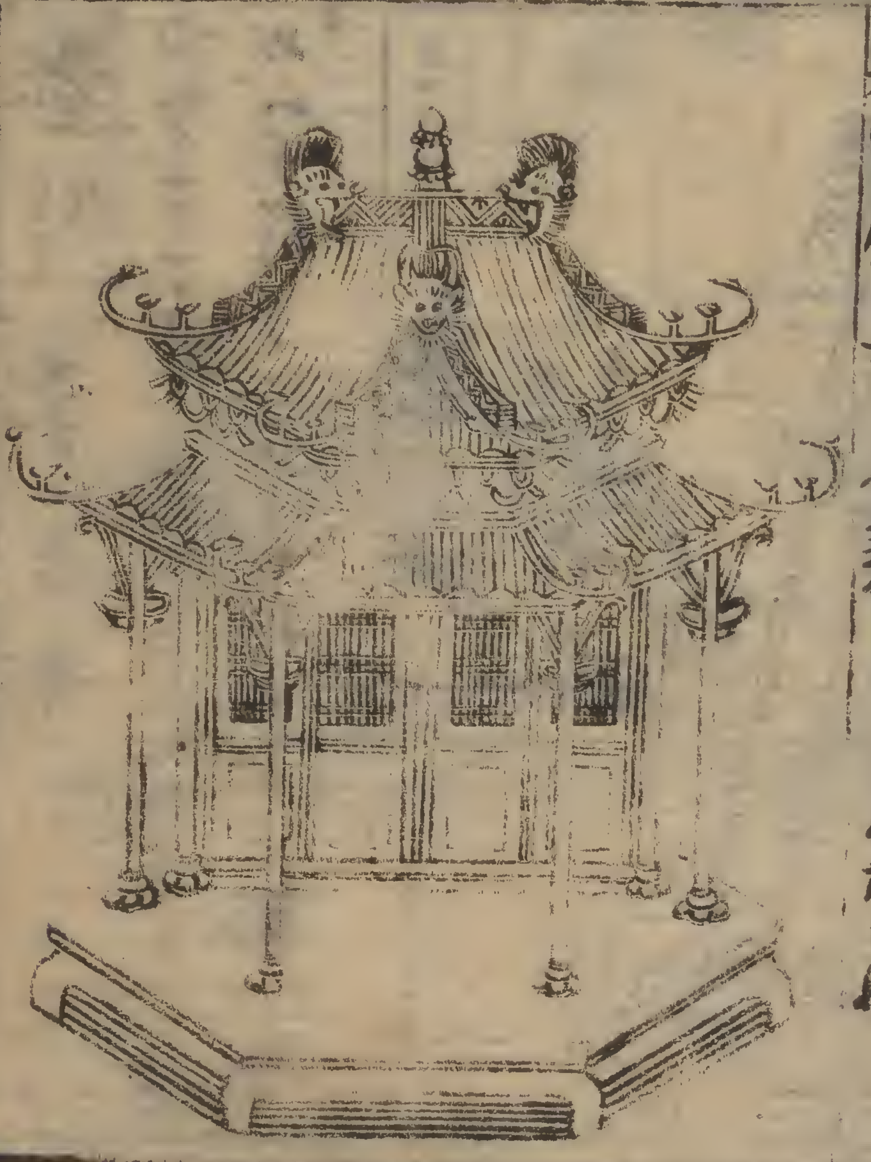
名の下に和名を附

宮室

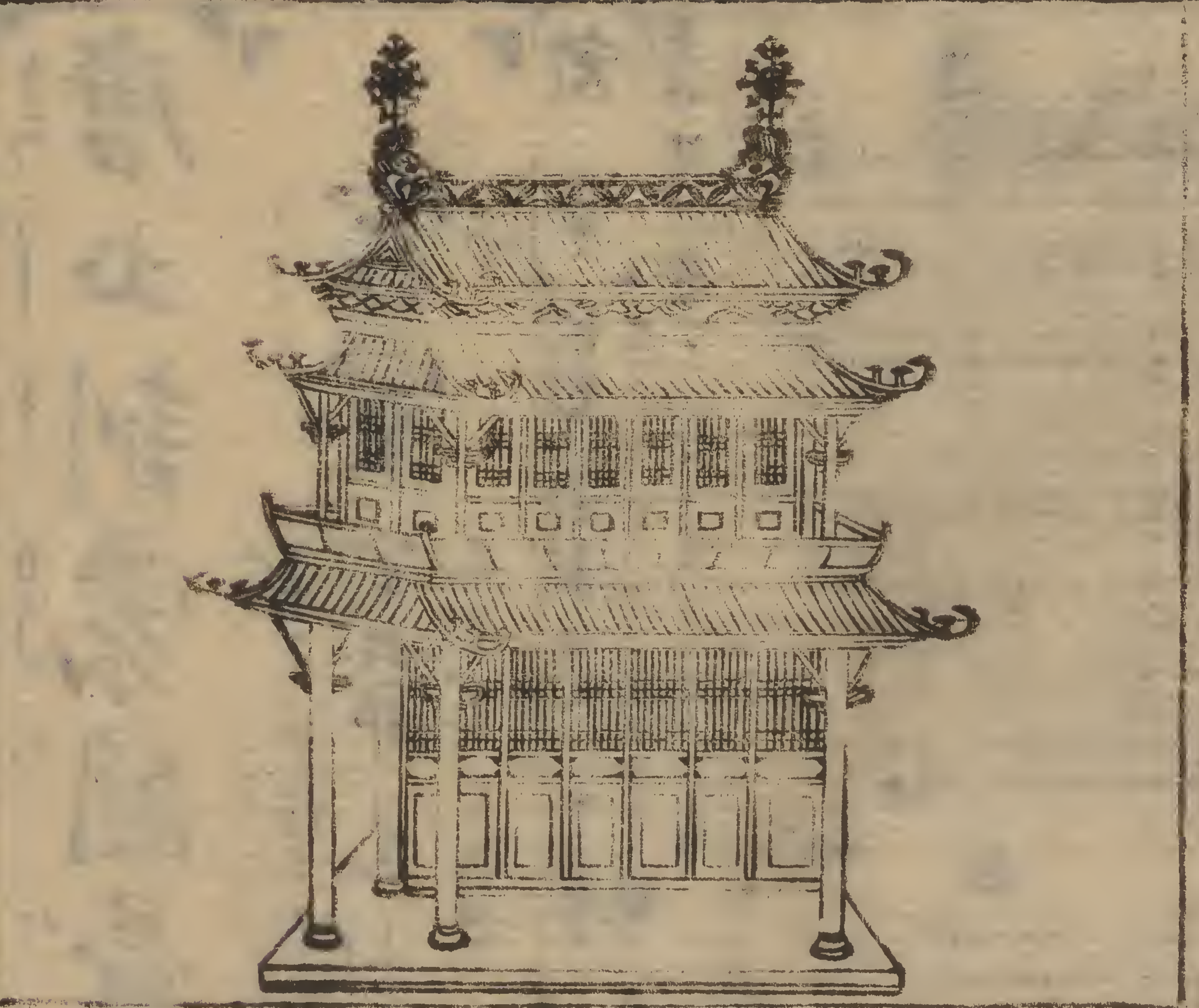
易ニ曰上古穴居而野處後世聖人易之以宮室 此部より上天子の宮より下民間の村居まで ことごとくのせくはしくあらはしぬ



宮 みや 合宮ハ黄帝のはじめて造る 宮ハ中なり都邑の中に處するゆへなり

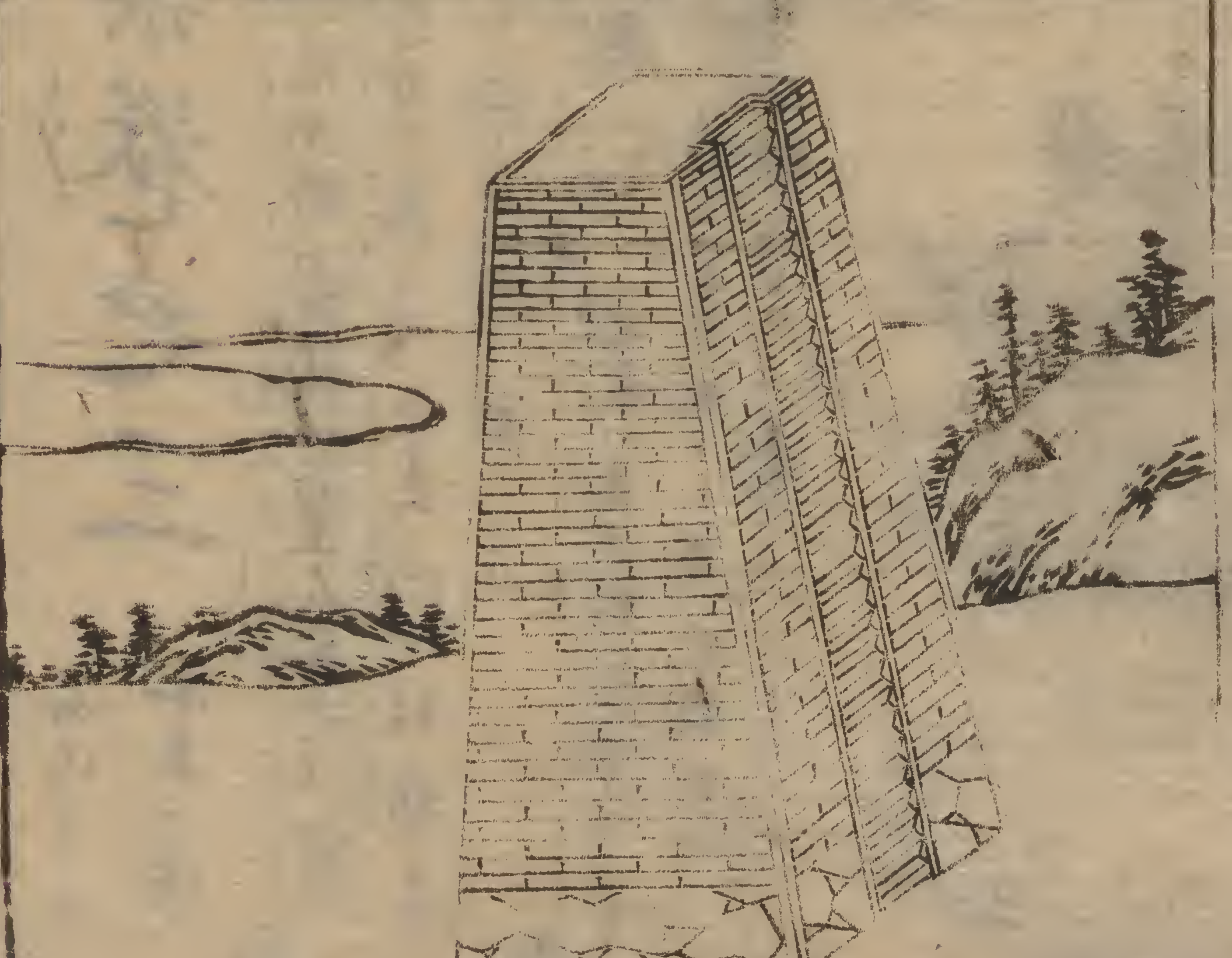


殿 との つくり 前殿ハ秦の始皇帝のつくりたまへる也 殿とハ軍の殿のごとし衆の屋をかこふ義なり



閣

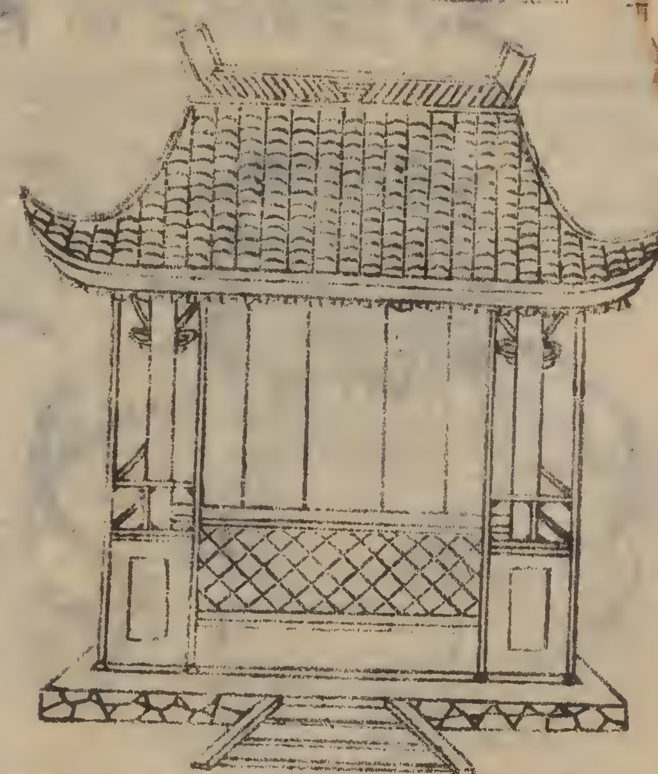
阿閣は黄帝のたて給ふ所
白閣 阿閣は巣をふきしといへり閣は
樓乃うへに今一重あるものなり



臺なうて

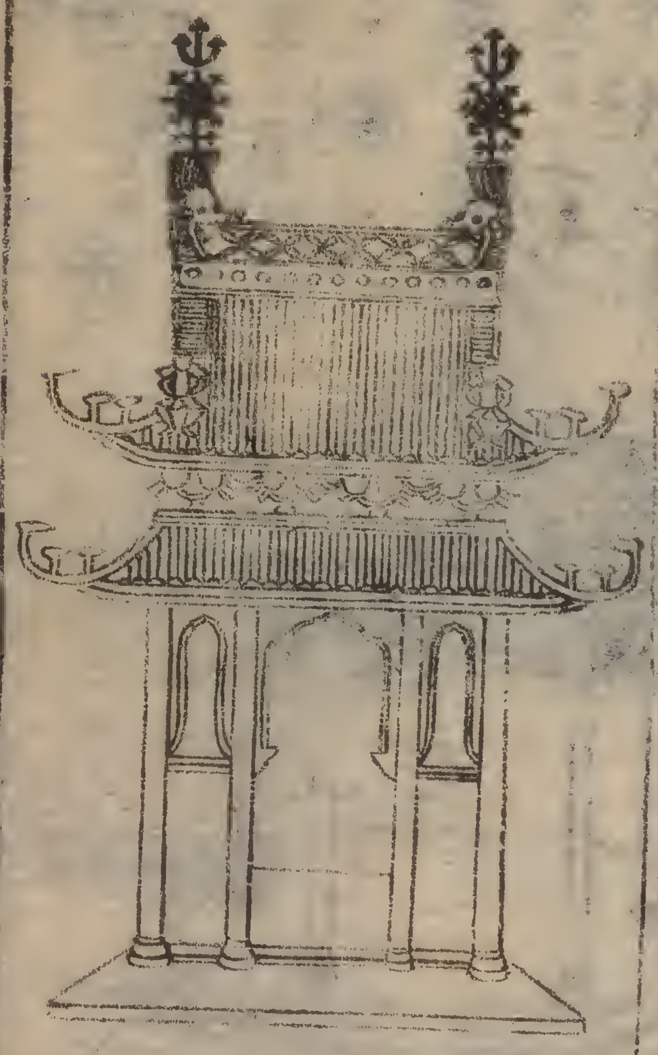
臺は黄帝乃こゝろ
つくるところにして高くして四方を觀
めぐりにをりふしあつまるとは樹といふ

黄帝の時よりこれあり



堂

明堂は黄帝のたてら所なり明の字乃心は礼義の営まつりごとを明らかにする意なり



觀

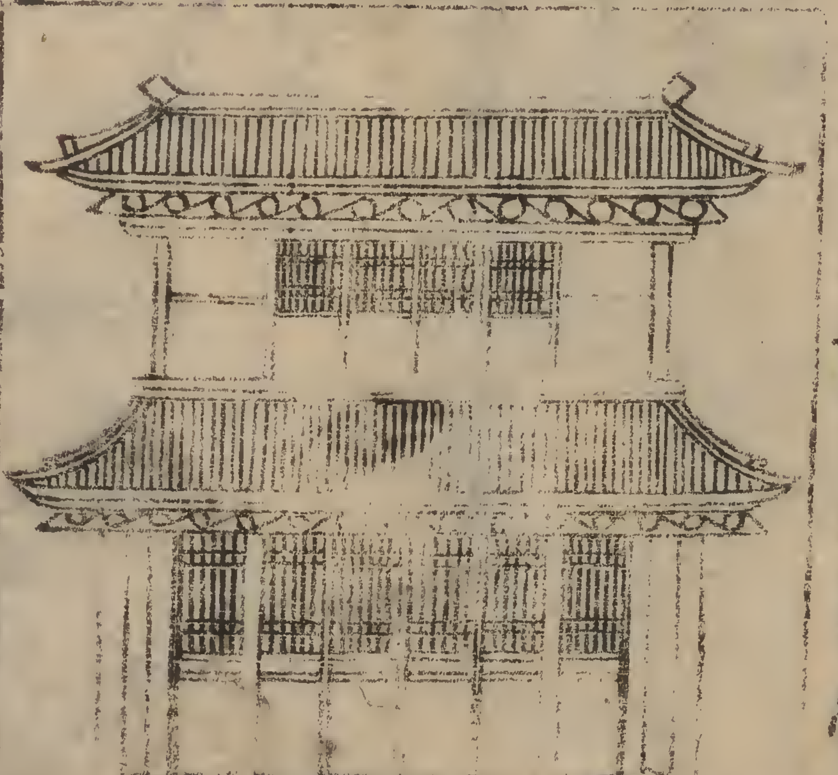
黄帝元始觀をつくり給ふ
觀はのぞみみるの意なり又楼ともいふ

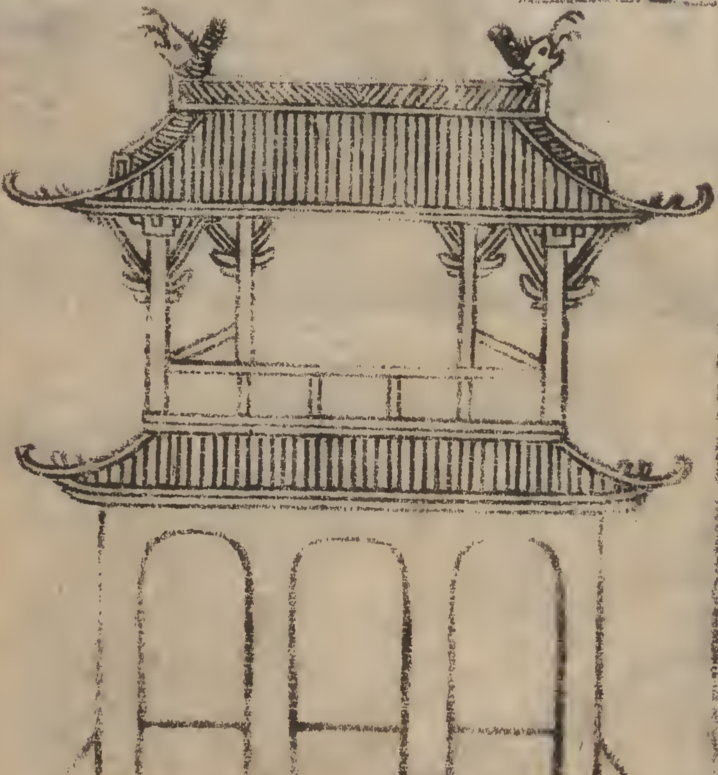
幹樓

方士漢の武帝に謂て曰黄帝五城十二楼を為て神人を候と武帝これを信して幹楼をつくらせ給ふ

闕

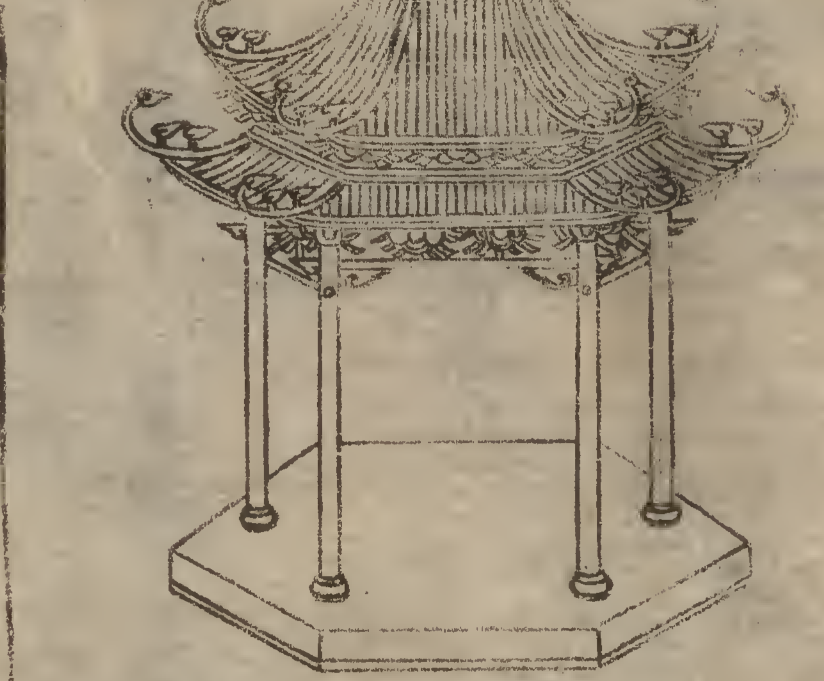
門闕とて左右と立ちて中に門をわきあるをいふ中乃意なり





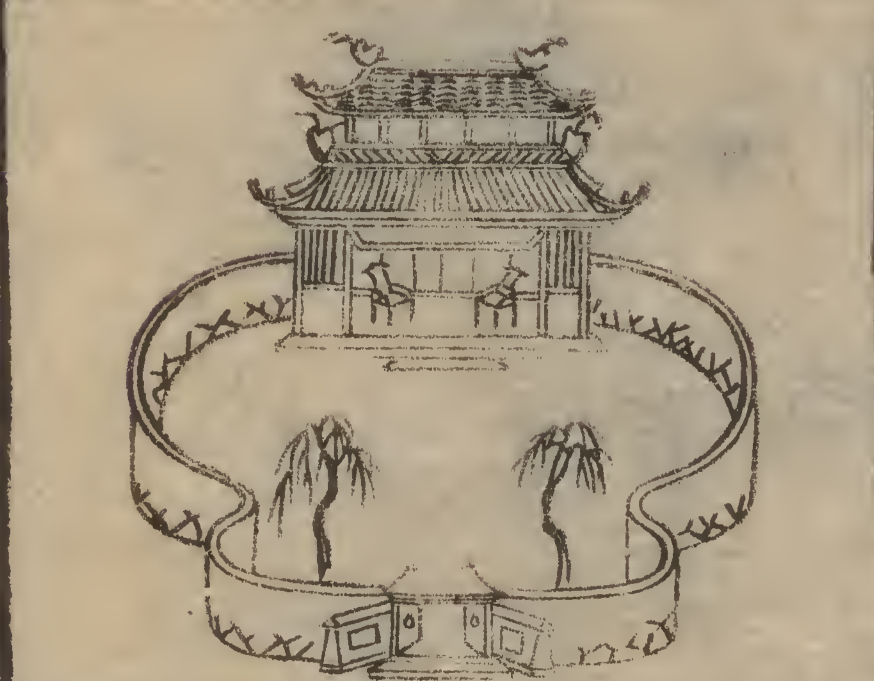
亭（てい）

亭ハ停の字の意にてとゞまりあつまる所也。秦の法に十里に一亭をおく。一亭ある郷を亭の長といふなり



舘（くわん）　客（きやく）

舎（しや）なり。他國より来る賓使（ひんし）などもてなされける所なり。和名にハ使者（ししや）舎なり

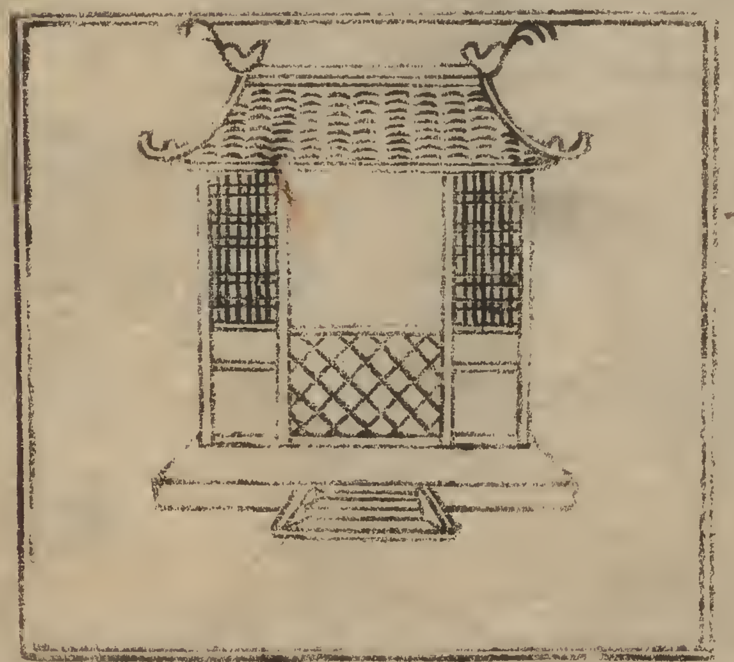


庭舘（ていくわん）　堂下（だうか）

より門までの間を庭といふ。黄帝大庭の舘より庭の名ハ黄帝よりおこる

宅（たく）　これ

孟子にいへる五畝の宅ハあまねく家をいふ。すべてかくいへど宅のかかりは秦よりはじまるなり

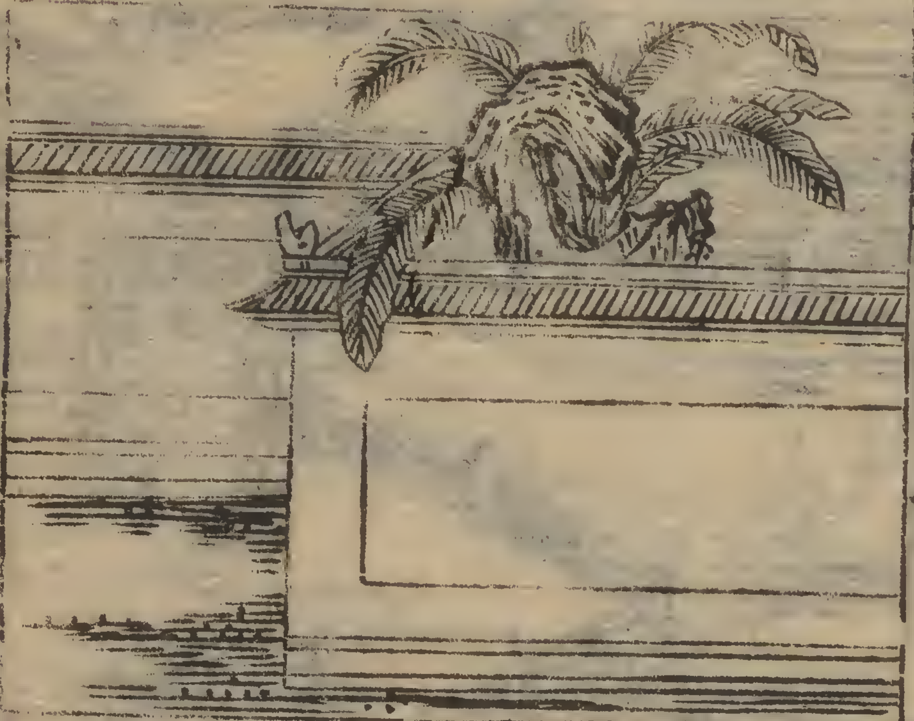


齋（さい）　漢（かん）の

宣帝（せんてい）齋居（さいきよ）して事を変（へん）ずといへるより此名あり。後ハ殷仲堪（いんちうたん）池のほとりに齋屋とてさく齋所とす

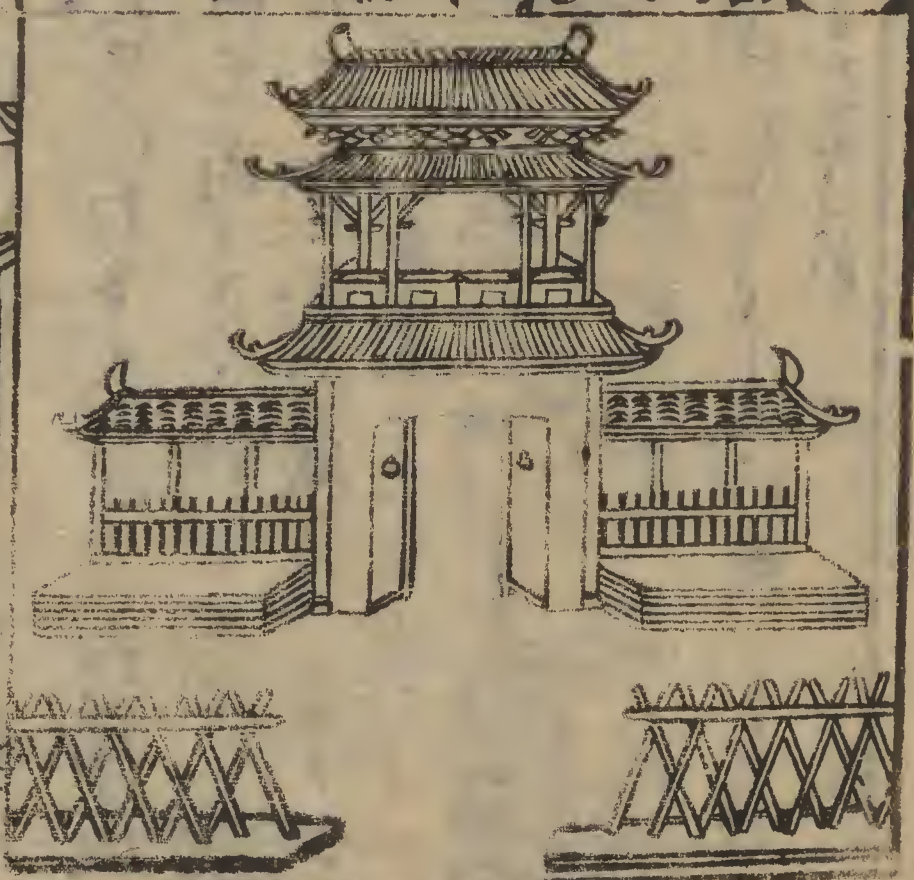
堵（と）　虞（ぐ）の

時よりはじまりて人をもつて牆穴（しやうけつ）と去（さ）しむ。一丈を版とし五版を堵といふ。安堵（あんど）といふは遷動をさらとふかし。史記高祖紀にあり



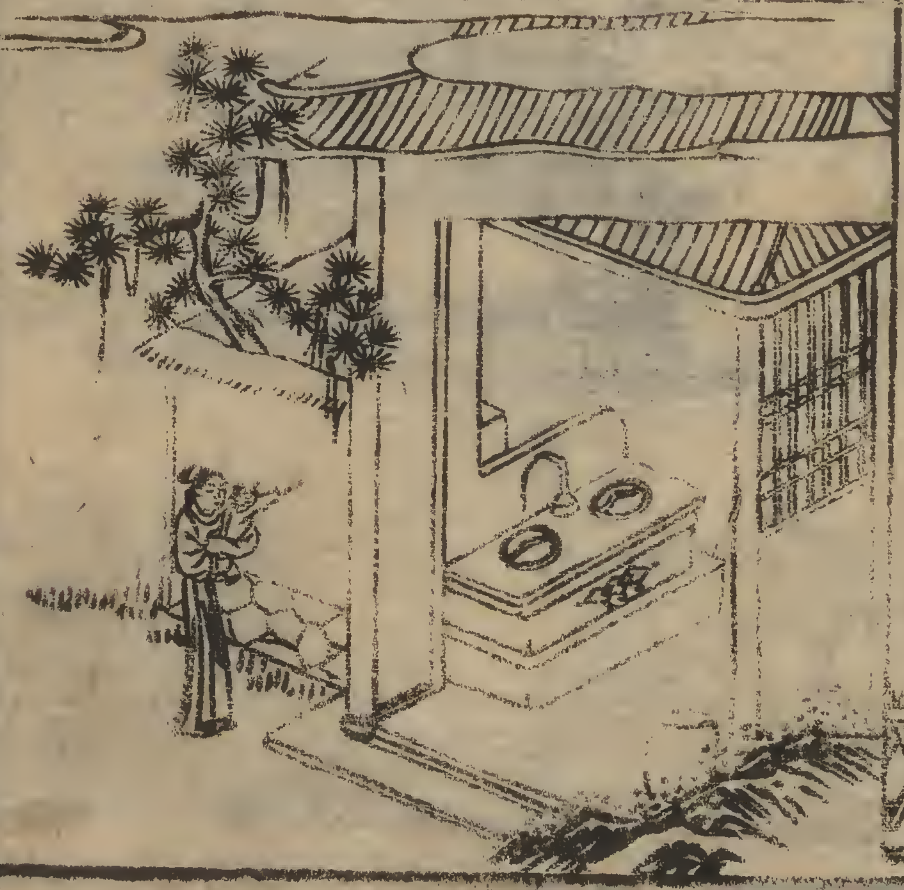
廨（かい）

百官（ひやくくわん）の居（を）る所（ところ）を府（ふ）といふ。是を廨（かい）とも官廨（くわんかい）ともいふ。府といふに同じ



庖（だいどころ）

むかし伏（ふく）羲（ぎ）始て庖犠（はうぎ）のれと制（せい）して犠牲（ぎせい）とし供（ぐ）をとゝのへ始まるなり

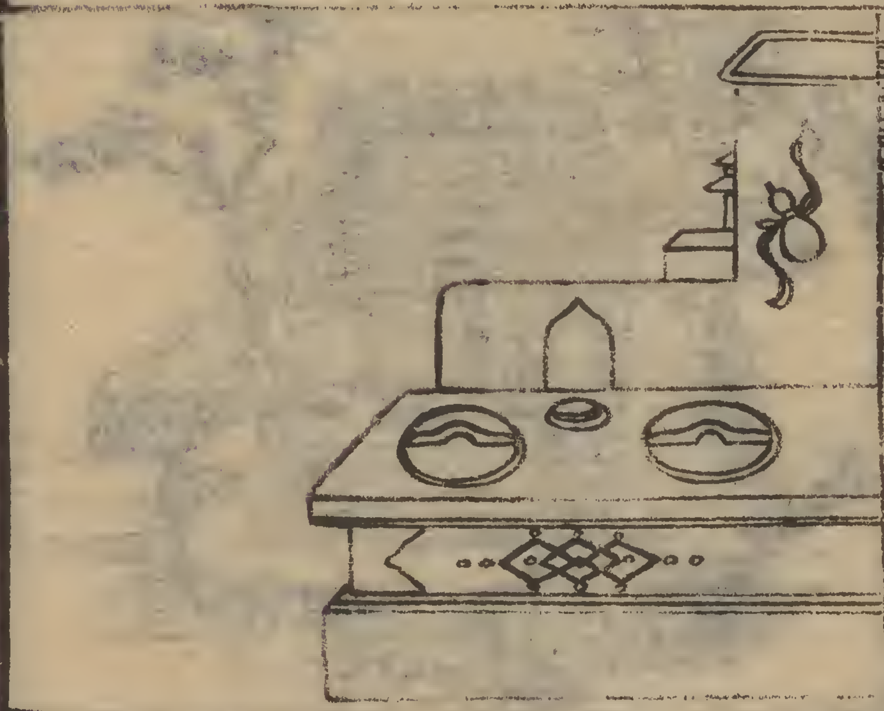


闐殿

上古のうひよ人の水に溺さりさめにうーらんさうしこれを鉤欄といふ園亭の中に亭あり欄からこの内ハ闌護心し

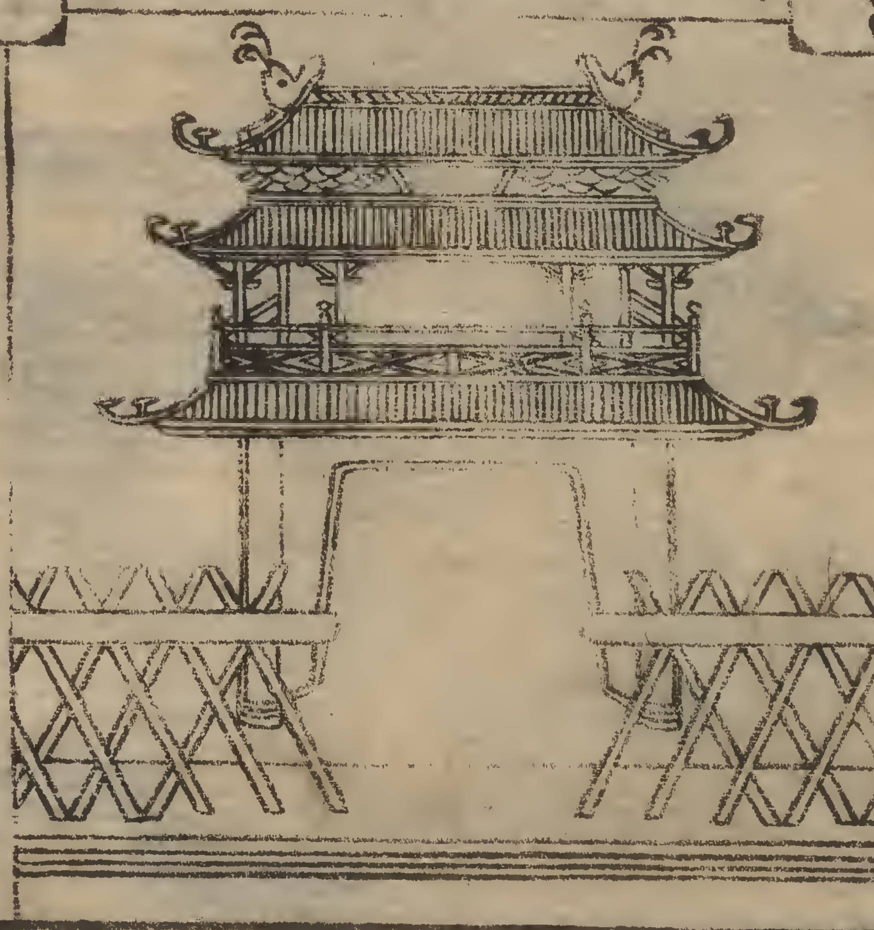
竈 **黄**

帝のつくれる所し漢の李少君竈の祭は始む人造火といへる竈ハ今のつゐ厨し



行馬

馬を行不とよふ今の埒又馬場とりふ同し



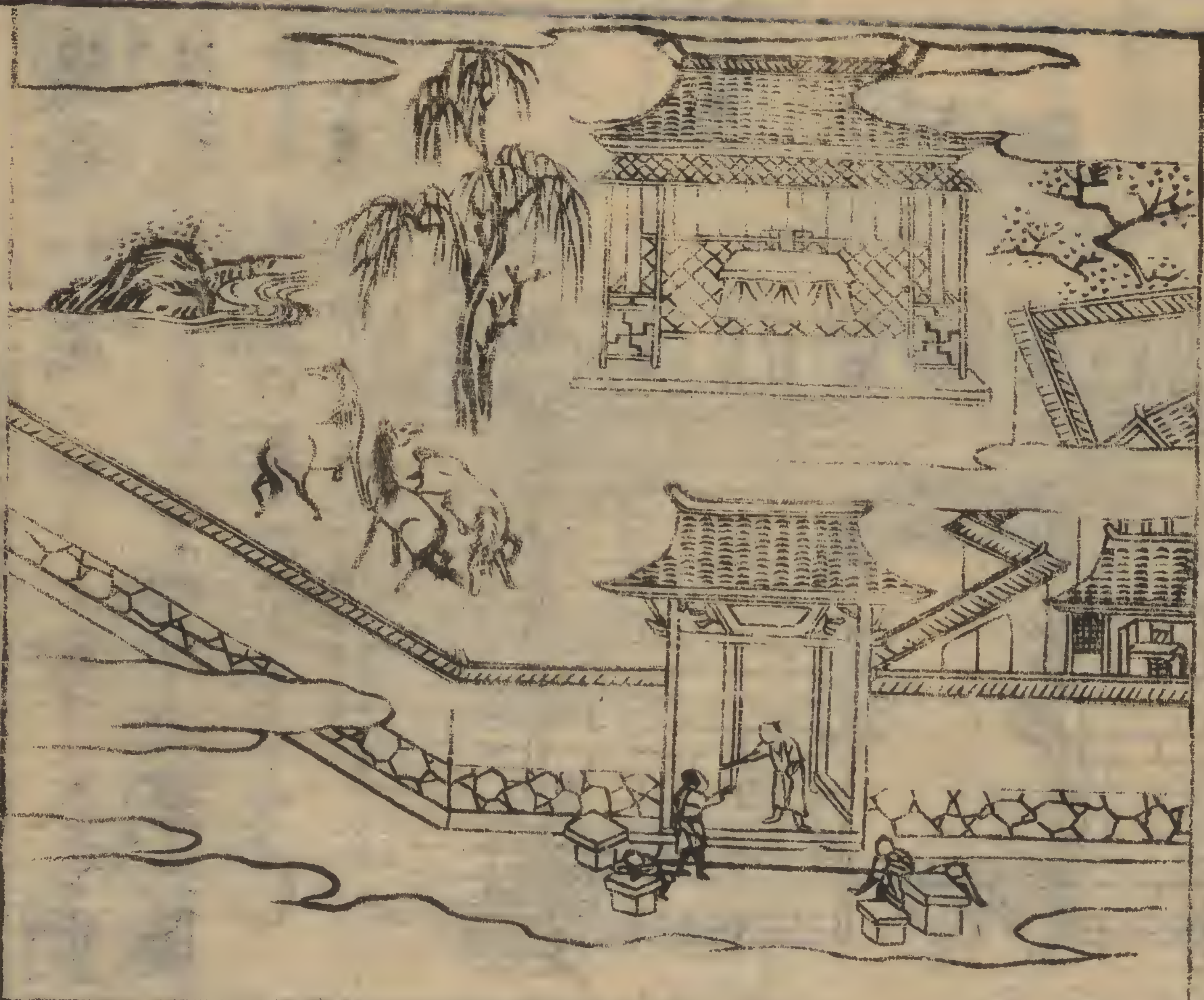
華表

神廟のまへにたつる木なり和国の鳥居に似て同しからず和国のとりゐのことハ上古質素の風ありてこれ門かまへとして華表ハたうしんくハ古今注にみえたり此図ハ古今注のおもむきにあらず

馹

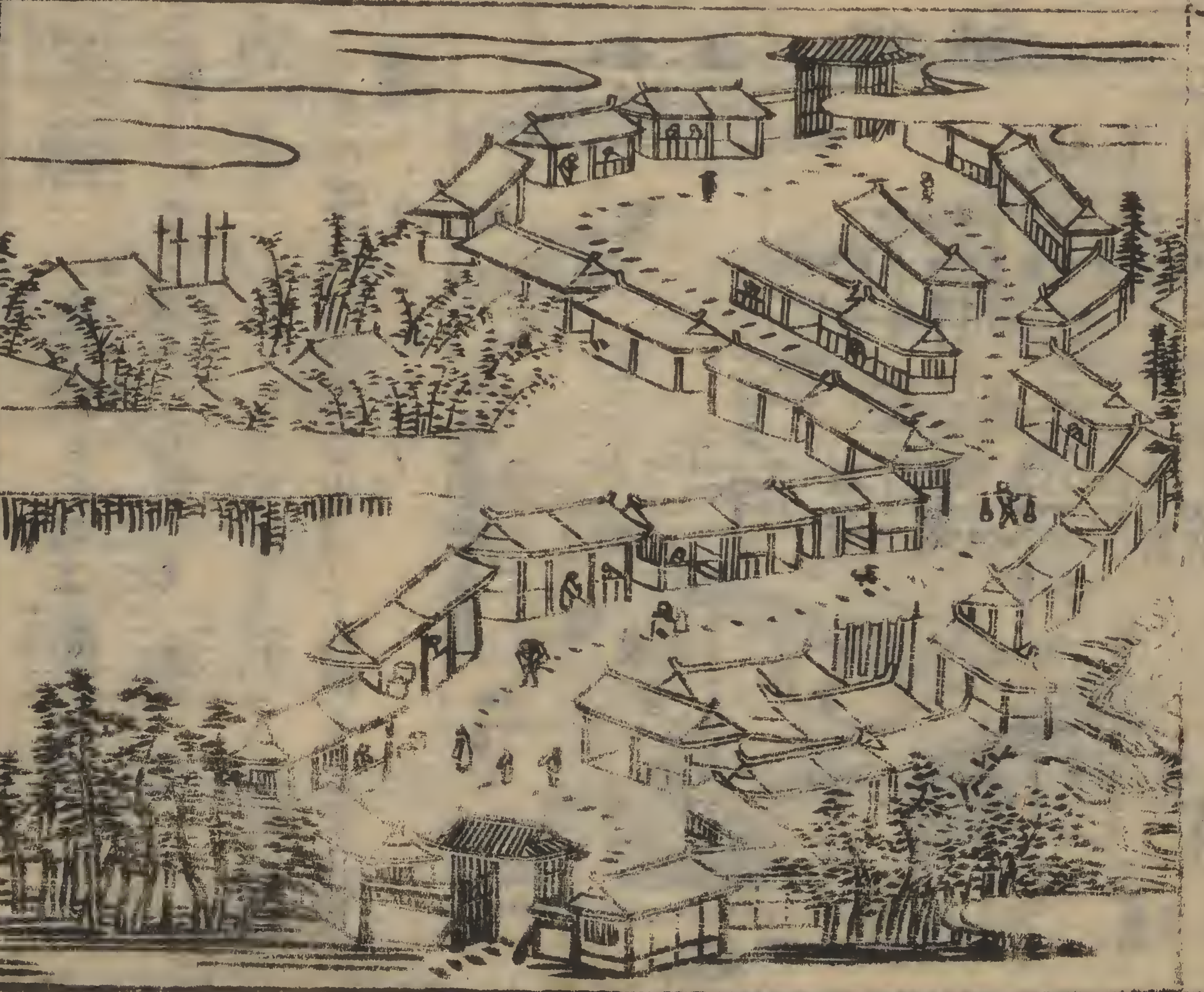
傳舎し傳ハ今の駅馬し歩馬急遽とて馹ハりしと敍百里なり

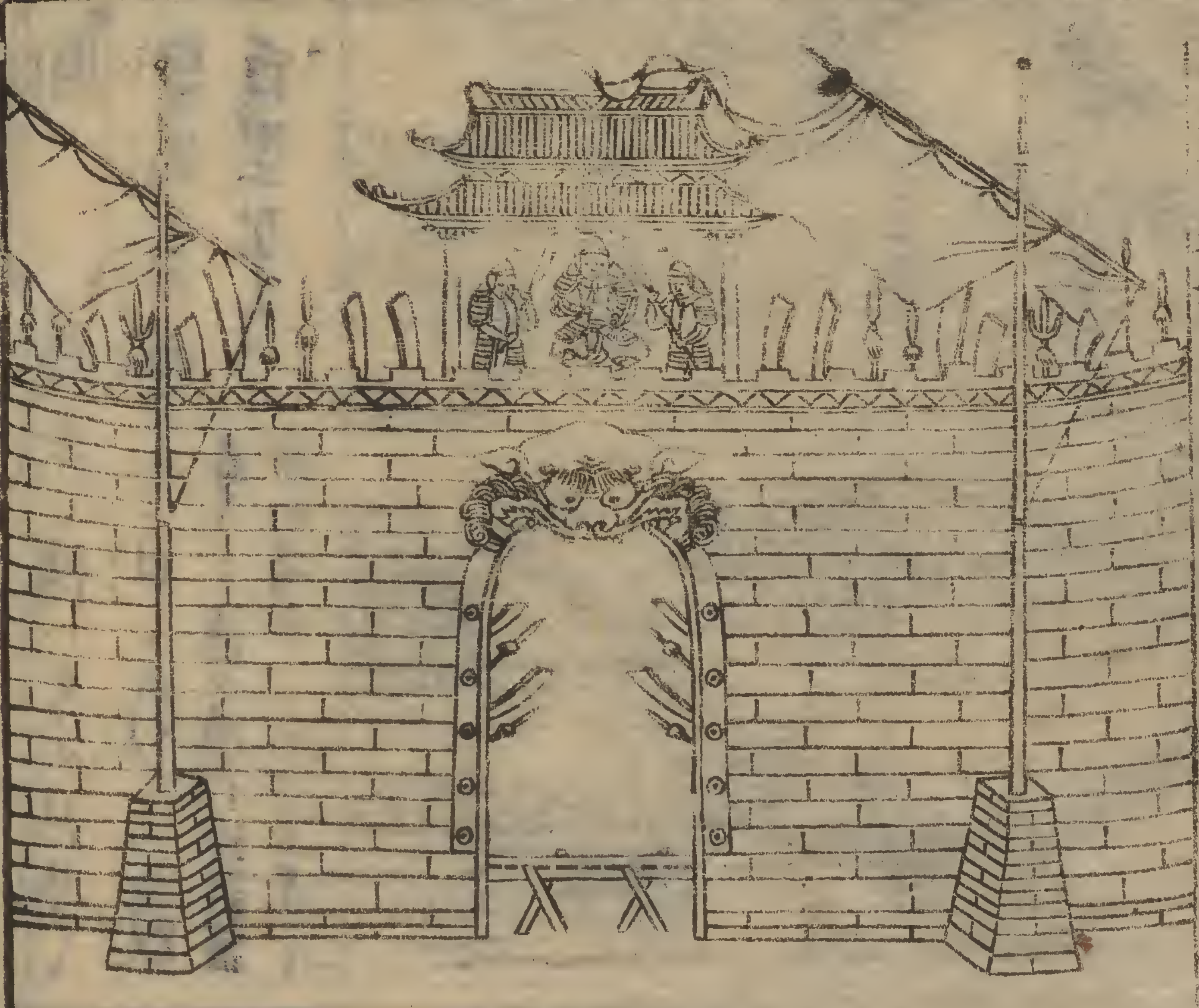
孟子に徳之流行速於置郵而傳命とのたまふ是也



郷

周礼に百家のうちを郷とし郷とハ向ふ衆人のむかふ所といふ意也又万二千五百家を郷といへり

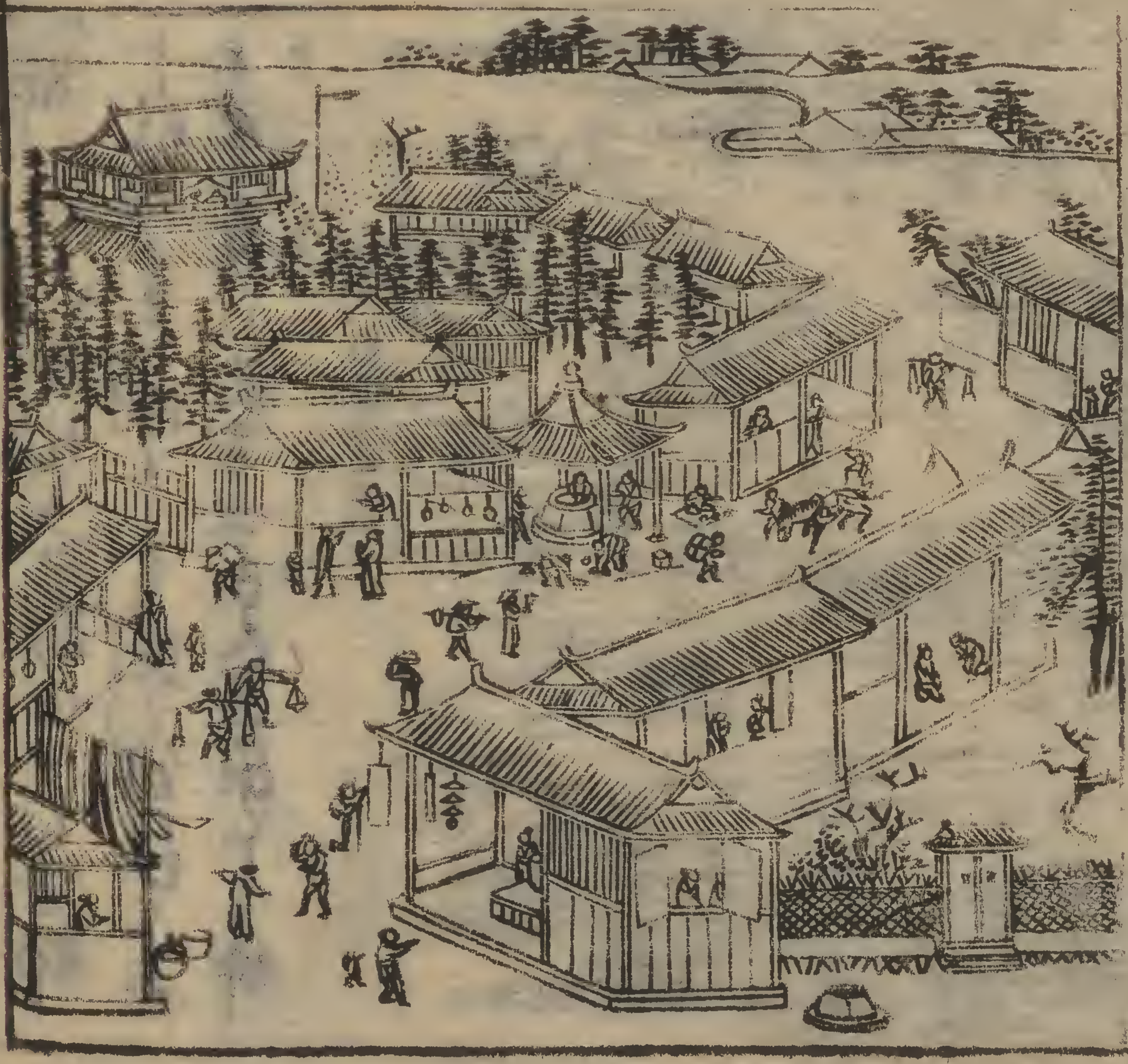




關塞（せき）

関ハ切りと塞し入ことを禁非常をまもるところなり塞ハ牆なり遠境の邊のへだてとすべし

○塞ノ和訓コレチトヨムナリ

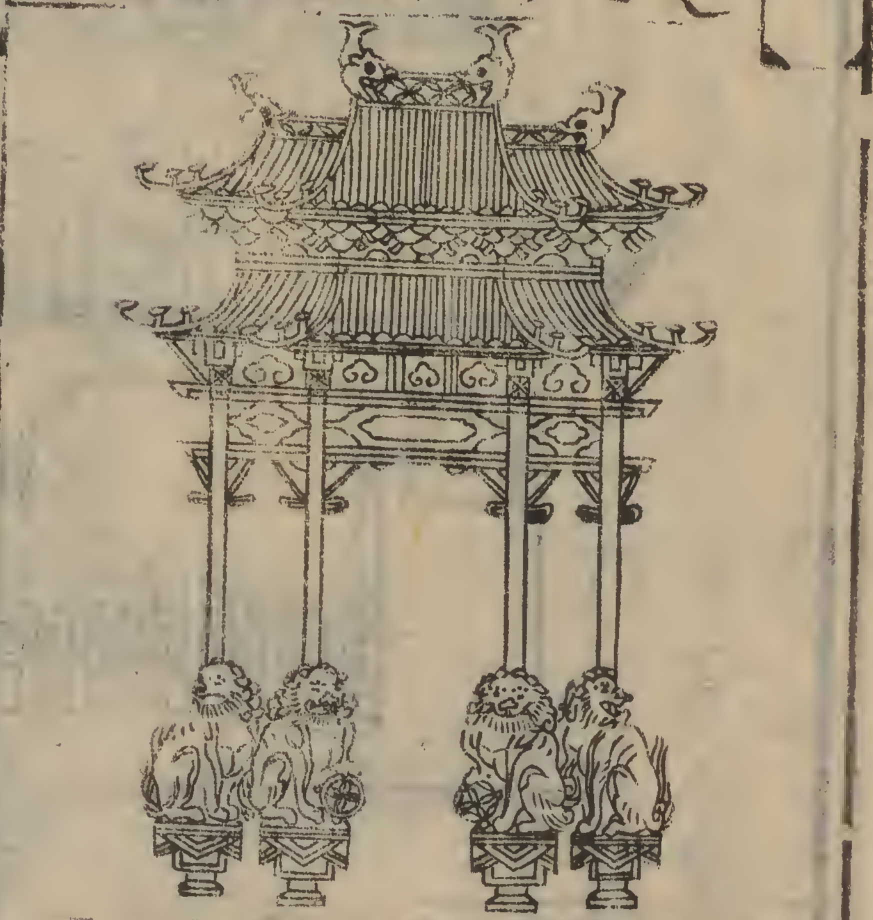


星鋪

肆のうちに廛とりならひ貨物を並べ交易をなす又ハ物ごとに分くひさくゞる列て叢雜なるハ星の繁きごとし故ニ星貨舖といひけるなり

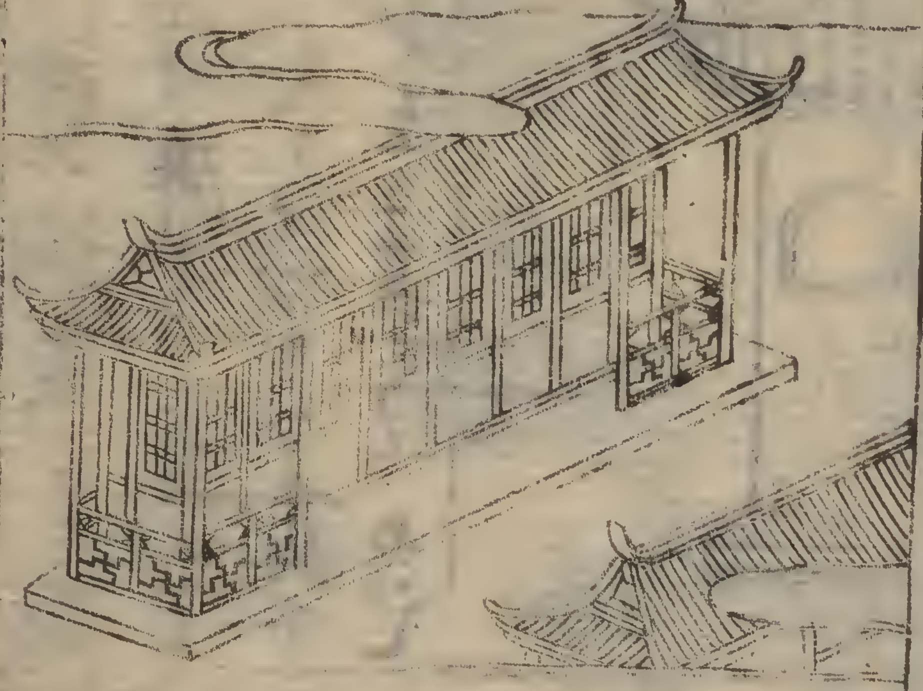
坊

坊ハ方之と注して文選乃名漢の時よりおこりしもの



房

坊と同しく方の義又防の義ふせぐて風雨燥濕を防ぐへし宮室の制は中央を正室とし左右を房として

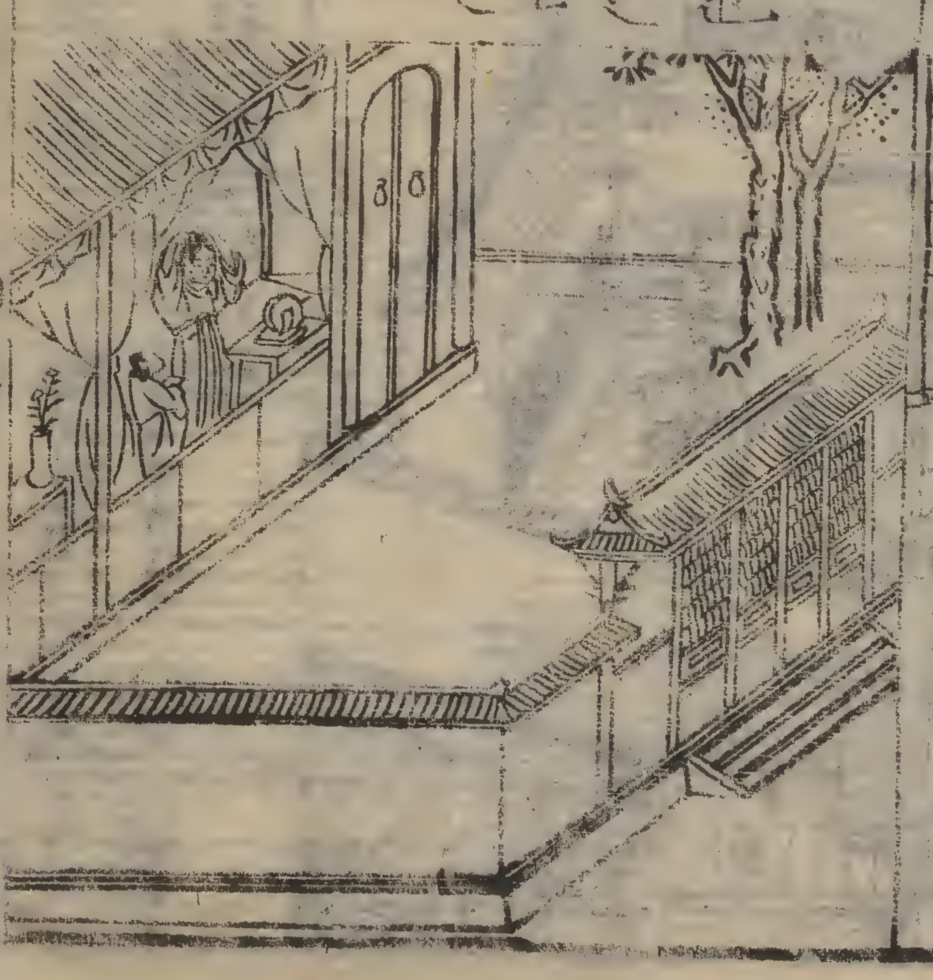


暴室

宮中乃織物を染練をつかさどる所をいふべし

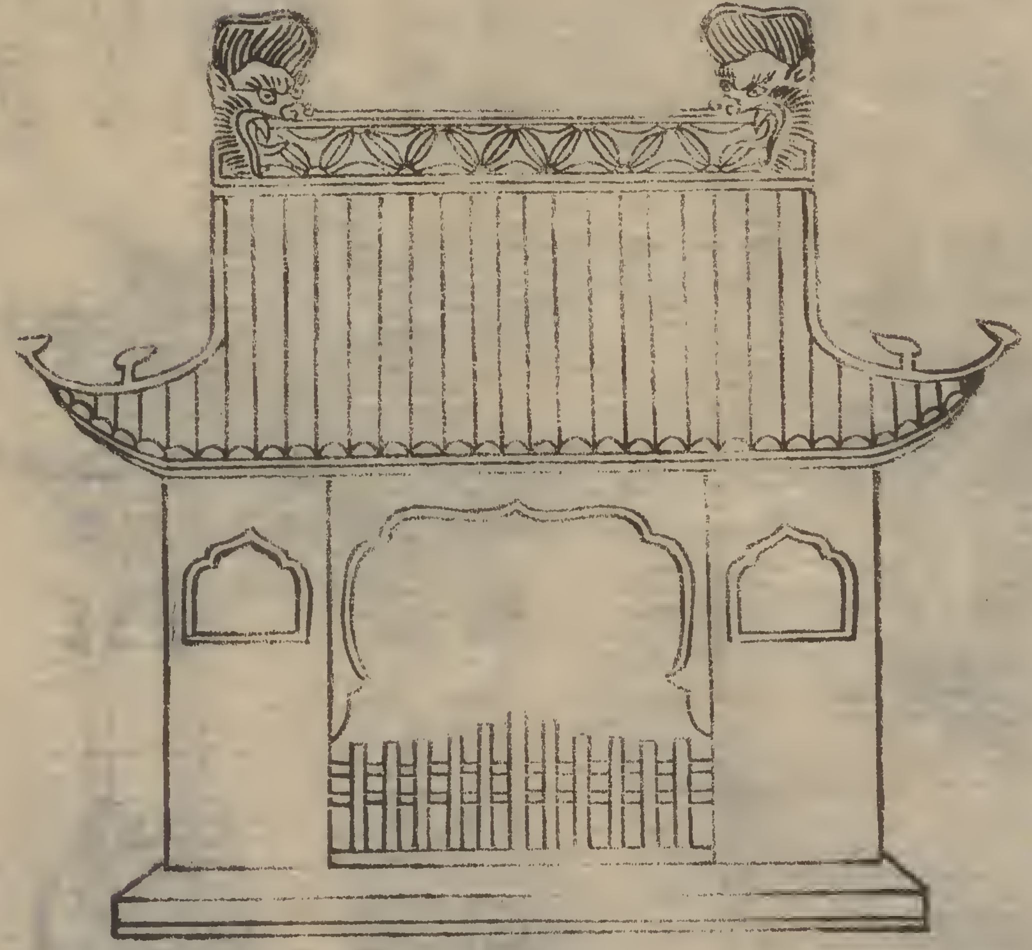
帷薄

帷ハ幔也薄ハ簾也婦人の居所をへだつ大戴禮に帷薄不脩といへり



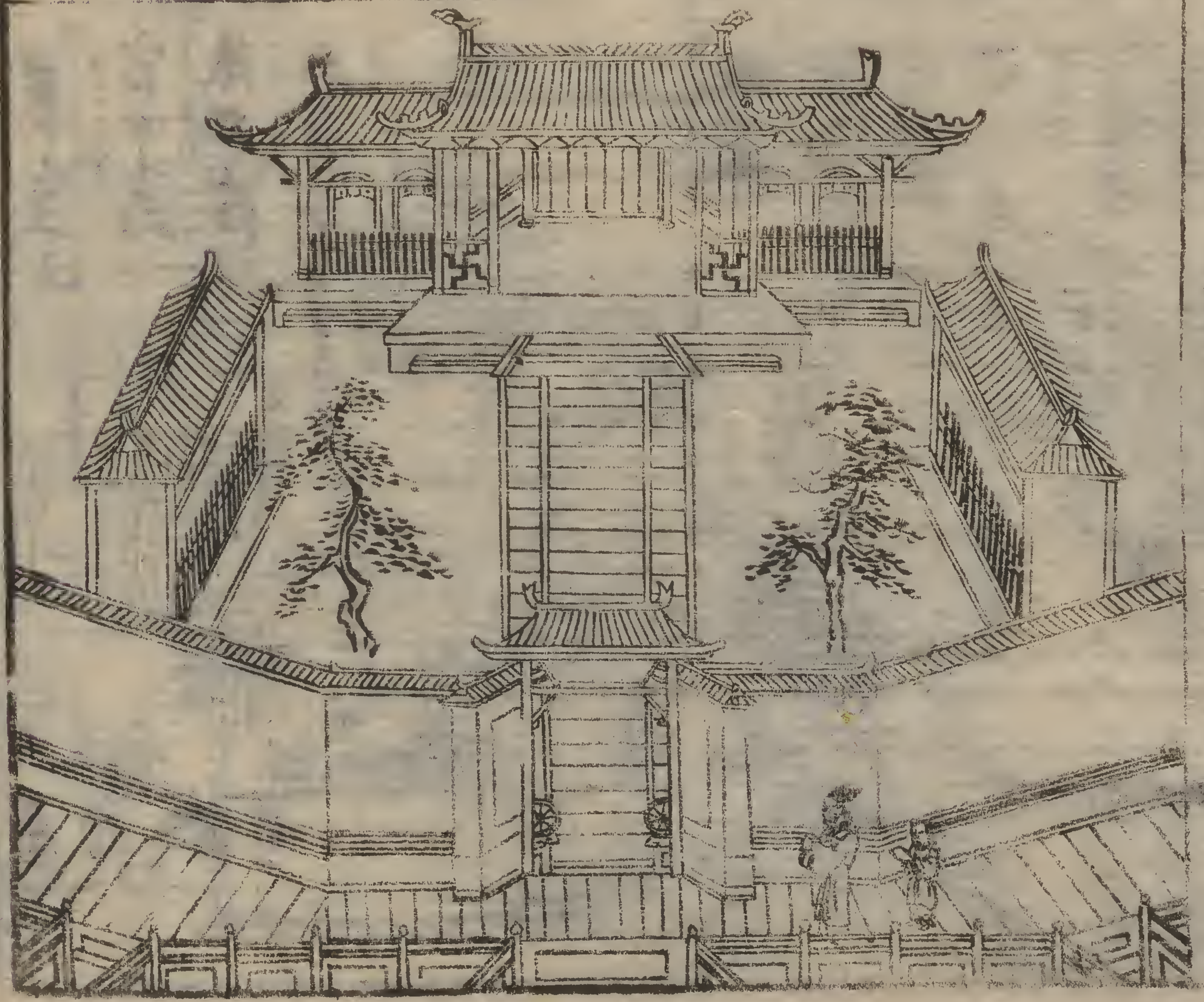
廟（たまや）

廟ハ貌の字義にして先人の霊貌を彷彿とする故なり むかし黄帝天子のみかりのち臣下遊慕して祠を立る其はじめとし



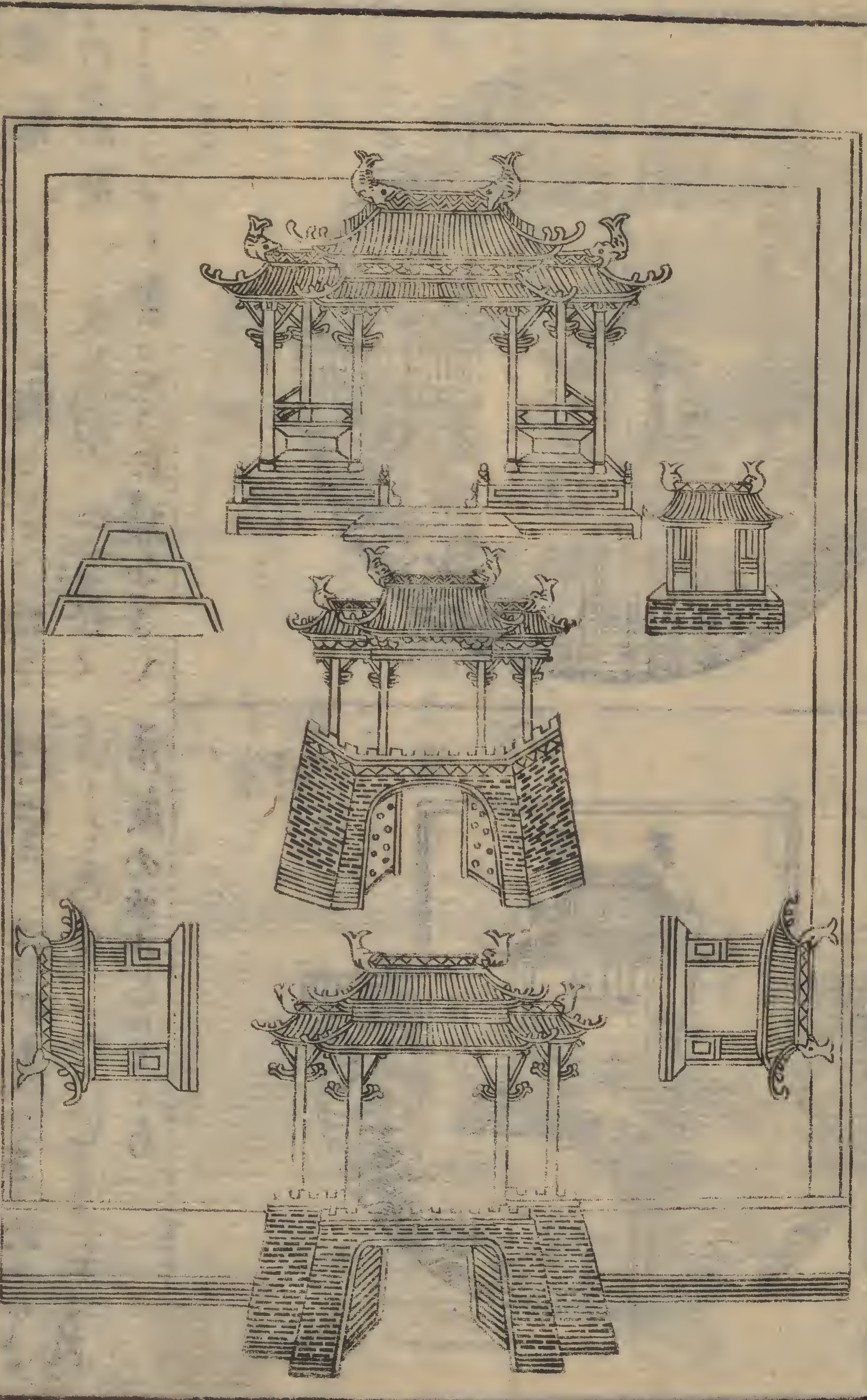
學（がく）

學ハ學校なり上天子より下庶人にいたるまでつとむる所の學文所なり



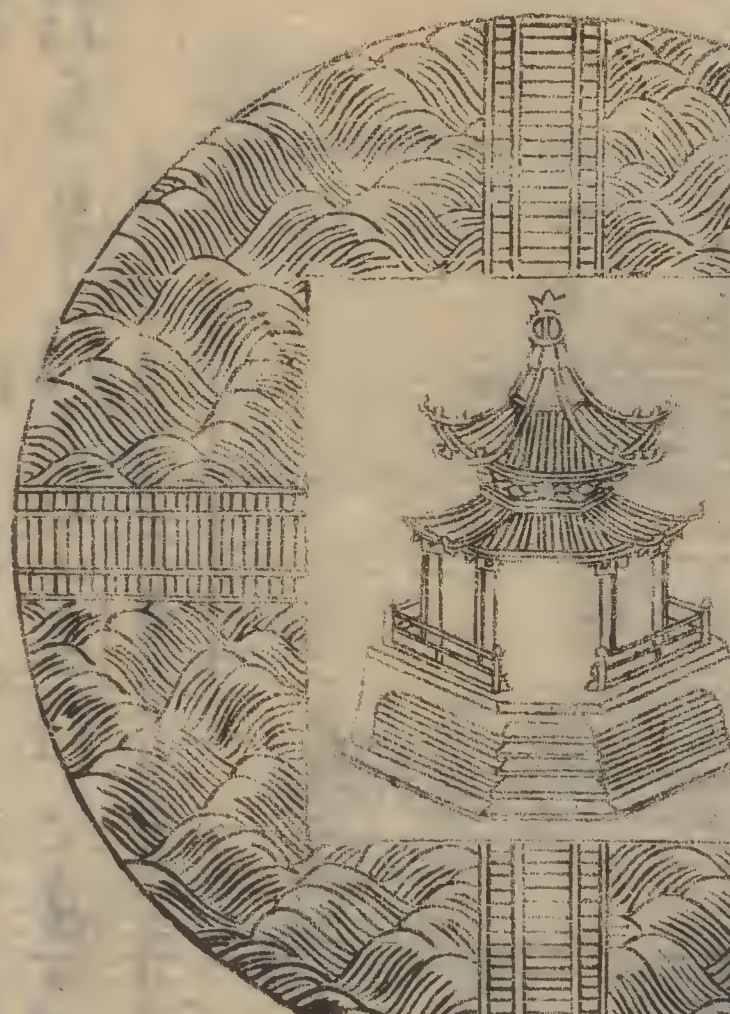
皐門 應門

むかし大王岐にうつりすみ室を築き廟をつくり皐門と應門と建たり古公亶父のち大王を追称し王の郭門を皐門といふ正門を應門といふ即天子の門なり



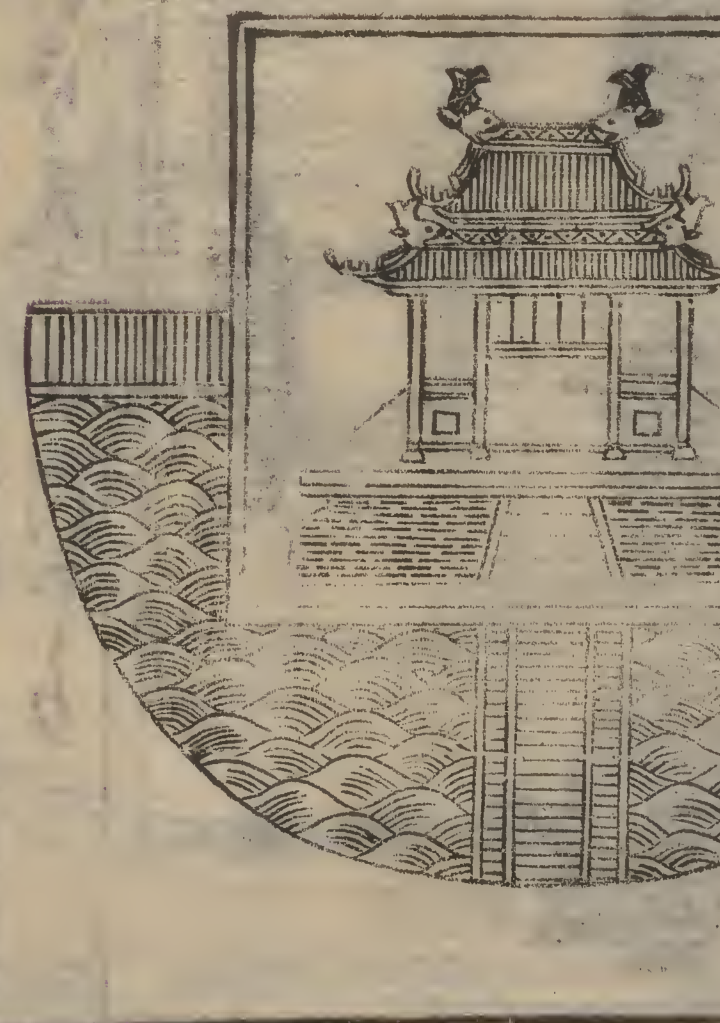
辟雍（へきよう）

天子の射と学ひ礼を行ふの所とし水を引て四方ひとしくゑんに観るやうに擁さへ



泮宮（はんきう）

泮の義は半の字と通し天子の文礼なきうしこれ諸侯の学舎なり



田廬（でんろ／いなかのいへ）

民の郊外に住る鶏犬ちを畜ふを時ら五畝の宅一畝半を廬とし二畝半を田に在古制なり

守舎（しゆしや／ばんごや）

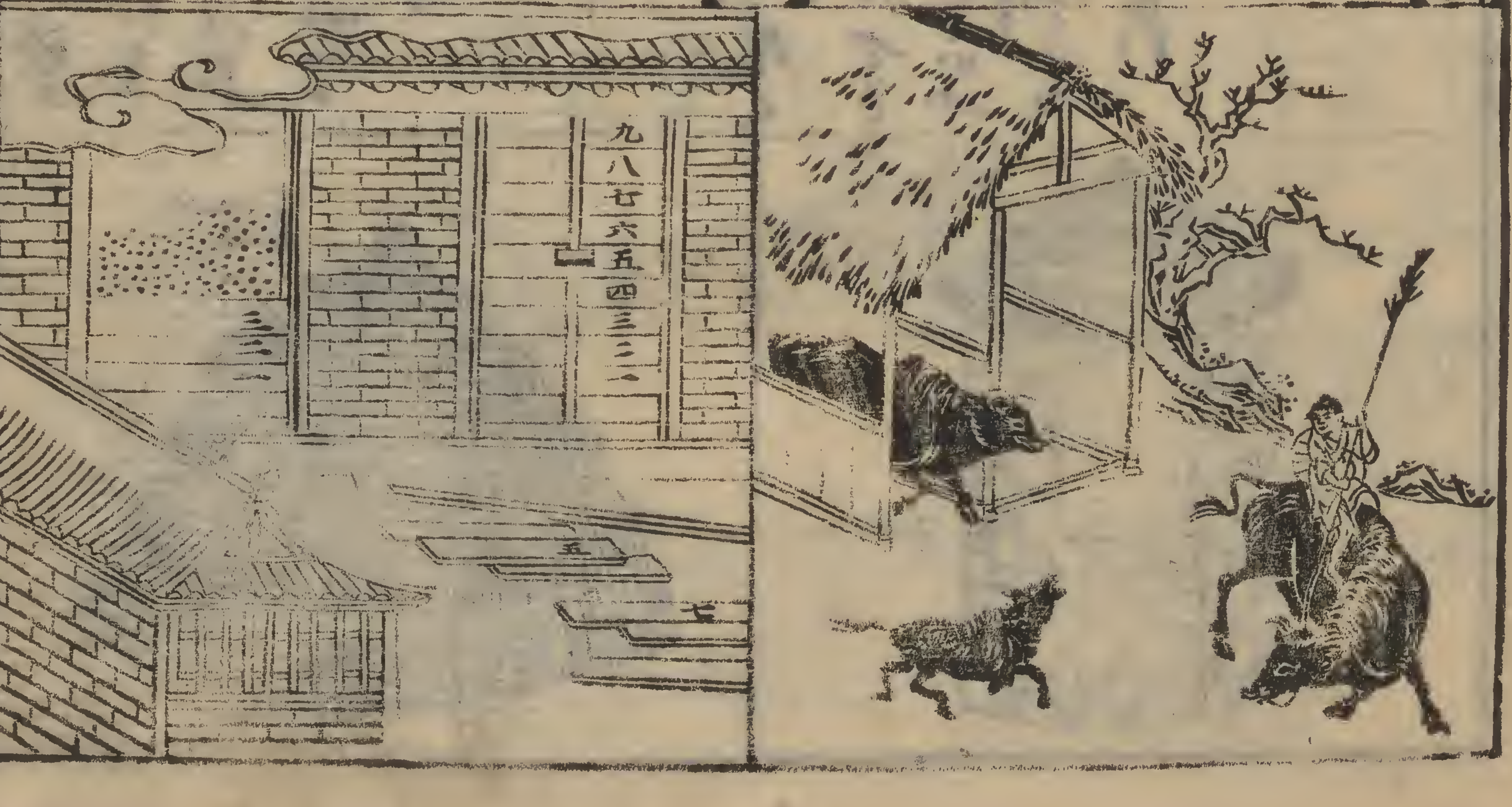
田圃をまもる小屋なりねらへけだ物をふせくために設けたるものなり

牛室（ぎうしつ／うしべや）

牛をかふところ櫳をそなへたる室也

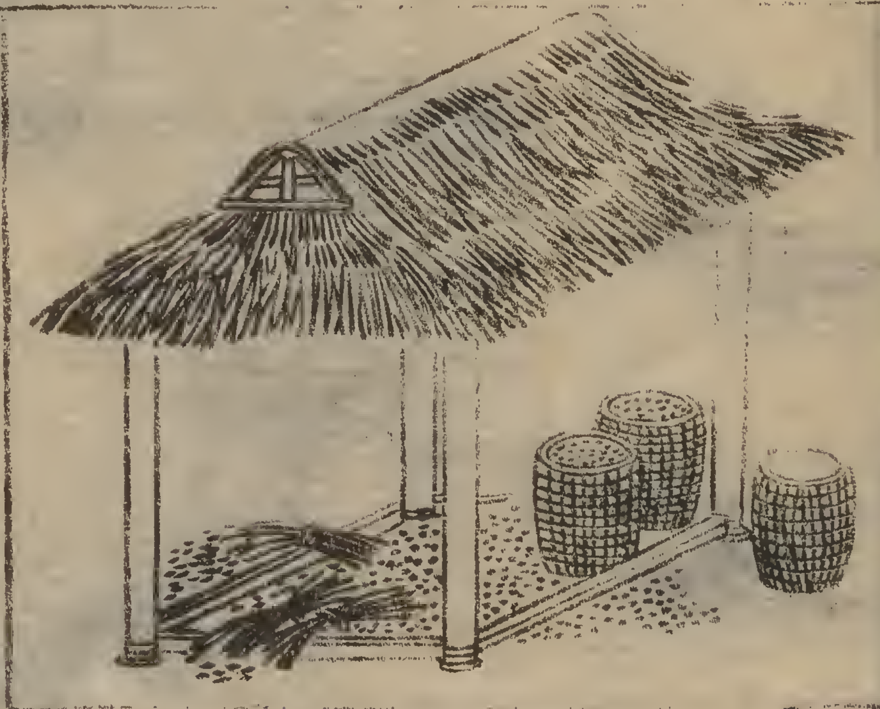
倉（さう／くら）

五穀をおさむる処の総名を倉といふなり



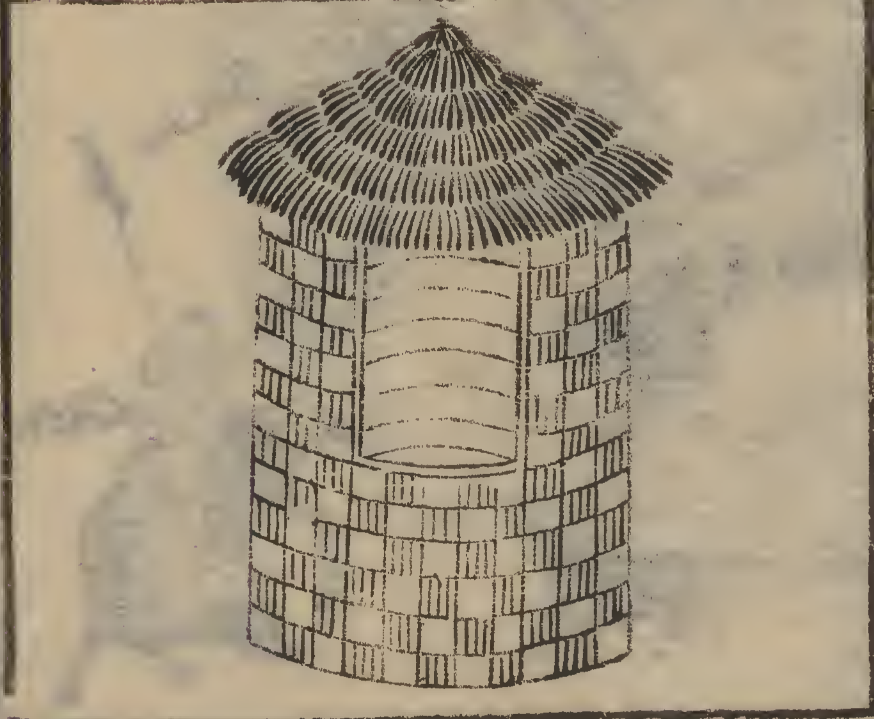
廩 くら 穀
なくやねなり
わくこれをいふ
廩倉ハ五穀
を藏る所の
惣名なりとも
いへり

庫 くら 兵器
金帛ふかきを
おさむるといふ又
書といへるを
文庫といふ庫ハ
湯武のとき
五庫を築て
五兵を藏ぞ
しめたり



庾 くら 穀
なくらなれ
まくらといふ
いねいれな
ぞっなり

囷 くら 禾
建て苫をさ
しかくとふ
廩の圓なり
と囷とし

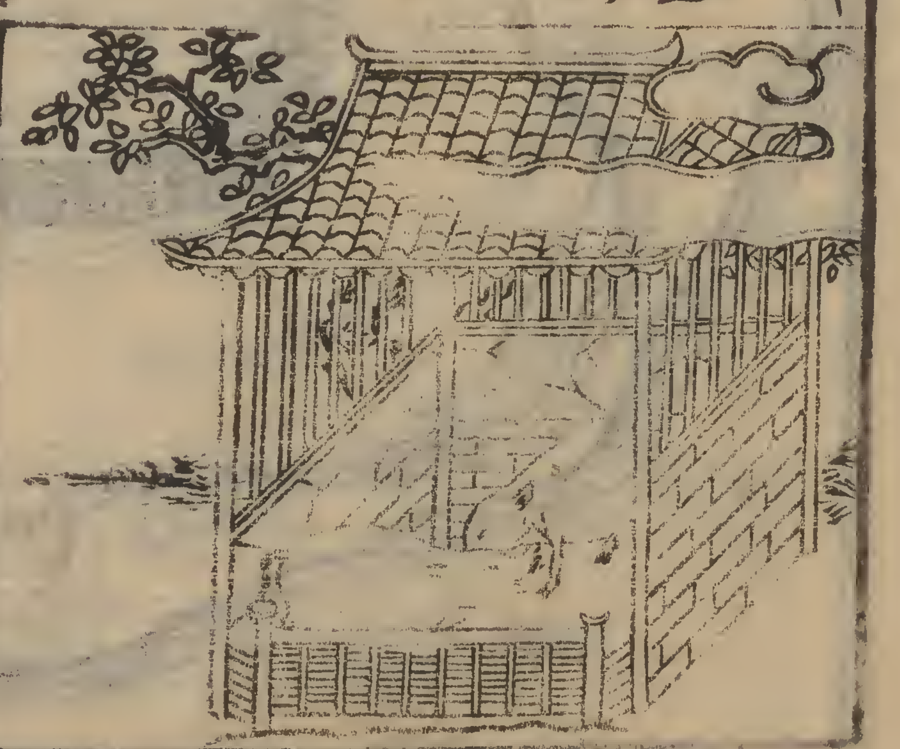


京 くら 稟
けるといふ又
廩の字よつる
京ハ高大乃
義をとつて
いへり

竇 あなぐら くら
ほりうって腹大
きうして和へ不
と穿てを
するといっこ
窖よ似たり

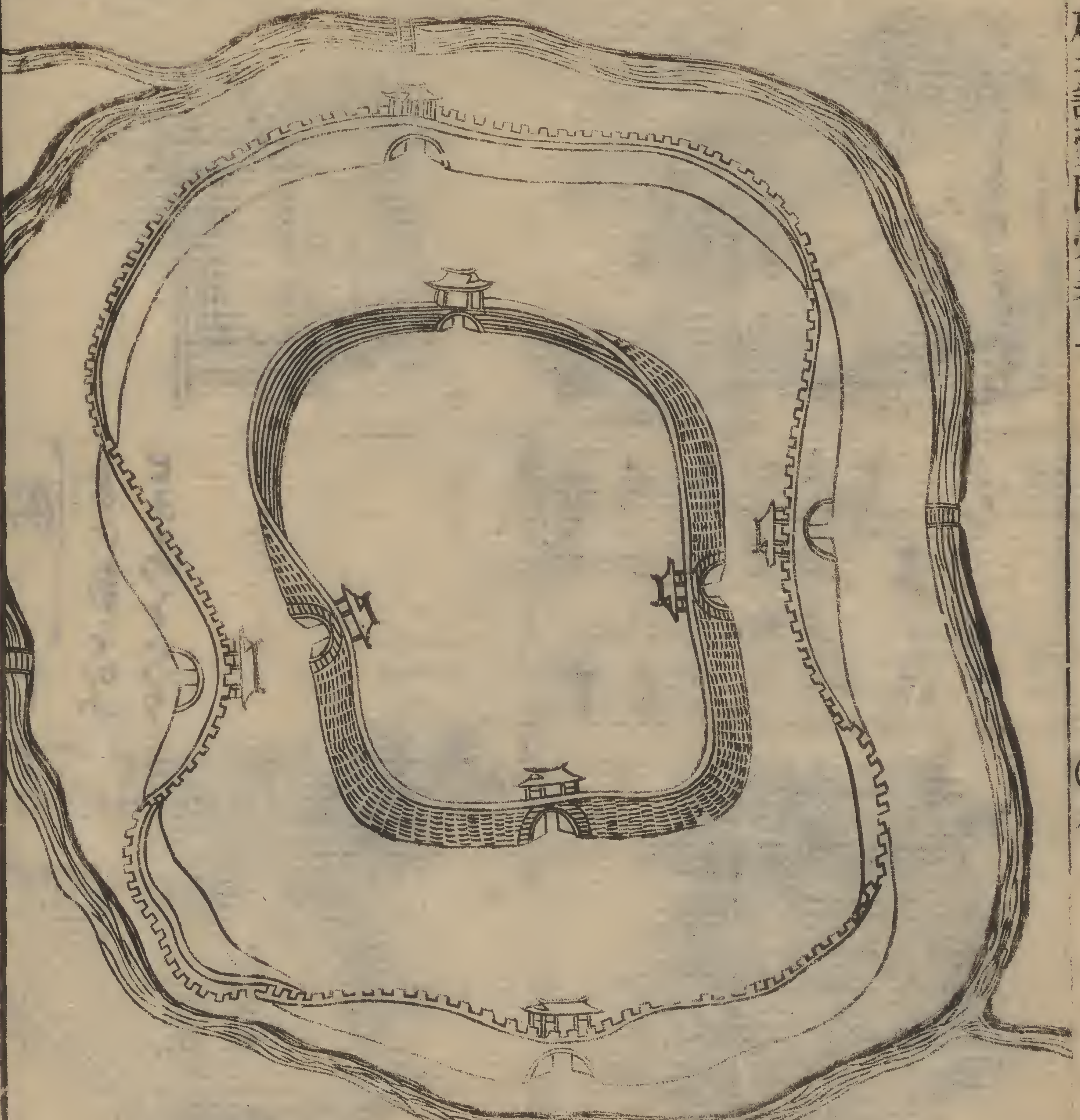
圏 とり 牛
豕の家とかふ
ところといふ

登司 登
司ハ氷の名
郭登とひこ
つかう会の
人おや守りて
との名とし



郭（くわく・くるわ）

城のそとの郭
とりかこむやうし
縣といふ人家を
つらねこれあり
よりて君をまもる
衛つとめさまを
の外縣と城
と比べらうし
わとざいうあり
城には君ありて
郭には民わり
いまいふそと
ぐるわのことし
○傾城 傾陵の君
事ところもいふ
ことも四方の
ここわり坂し
すべて町にて
いわるを郭とふ

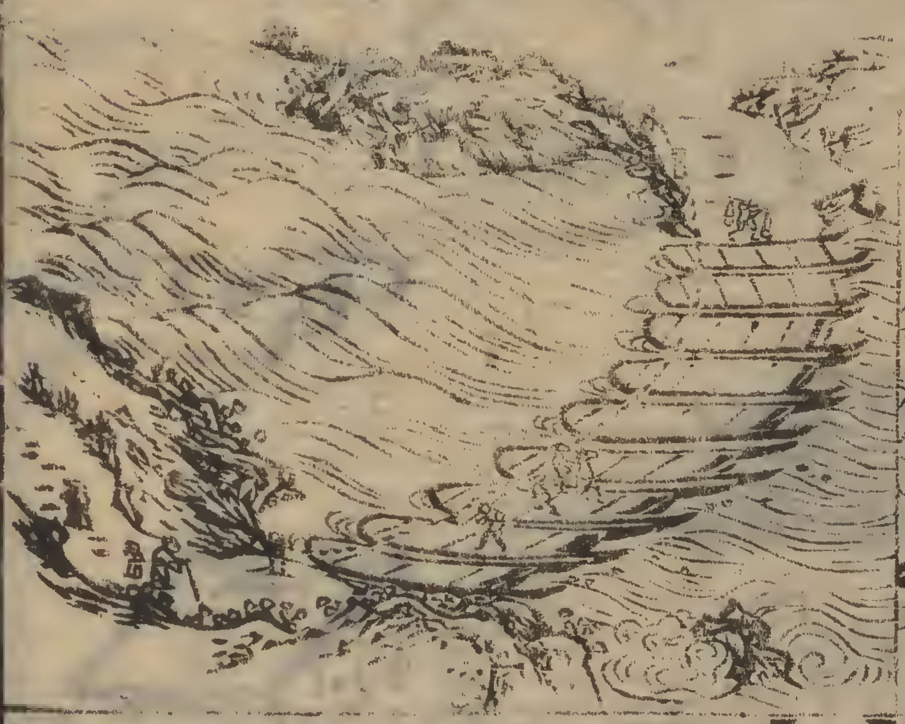


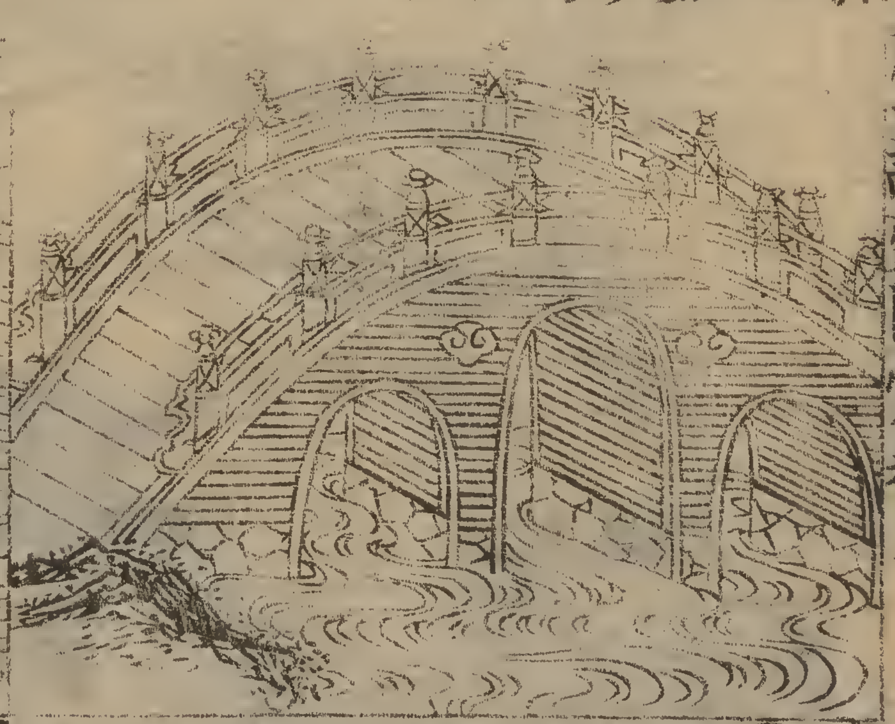
城（とり・しろ）

城は盛なり
もくさきうりに
國郭と云ふ
敵を防ぐ城上の
垣を睥睨と
いふ孔の中
より敵を窺ふ
睥睨するを
いふなり
女牆ともいふ早
して女子の丈
夫におそるる
ごとしといふ
なり

橋 水ハ澤をへだて往來を隔つ故に人ハ橋を造りて大水をも踰越べき意也 橋ハ數體あり 訓蒙圖彙ニ此橋ハ漢橋の類 故ニ之を載ス

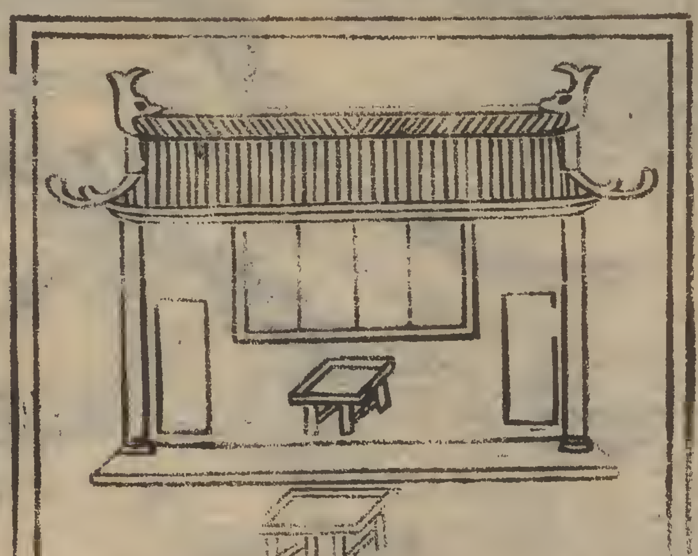
維舟 天子ハ舟を造り諸侯ハ維舟 大夫ハ方舟 士ハ特舟 すべて以上昔秦の始皇よりと傳へり





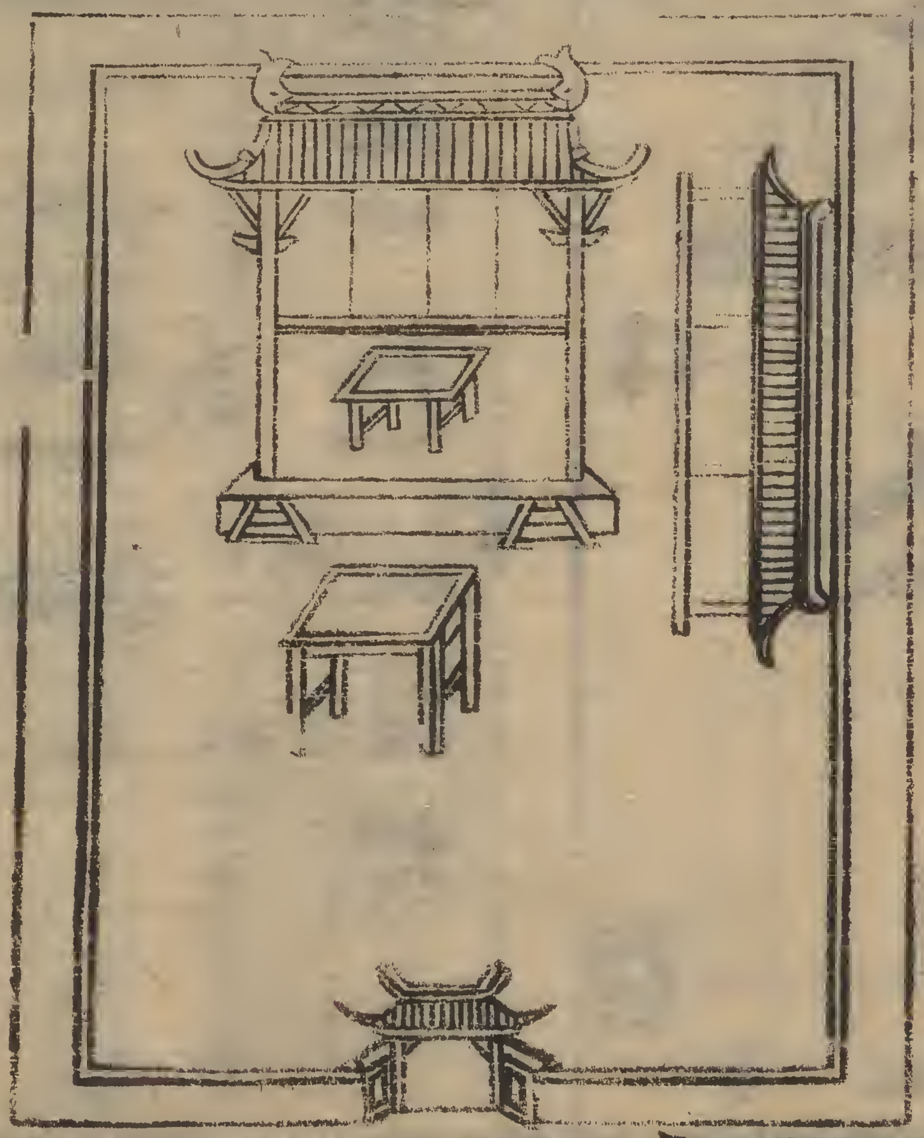
鈎橋 軍に用る具也 其制 橋の両ほとりに二の鉄環を施し貫くに二の鉄索を以し是をつなぐに麻縄を以し城樓の上に浮く 畧

祠堂 先祖をまつる所也 釈氏乃佛壇の如し これハ一間の圖なり



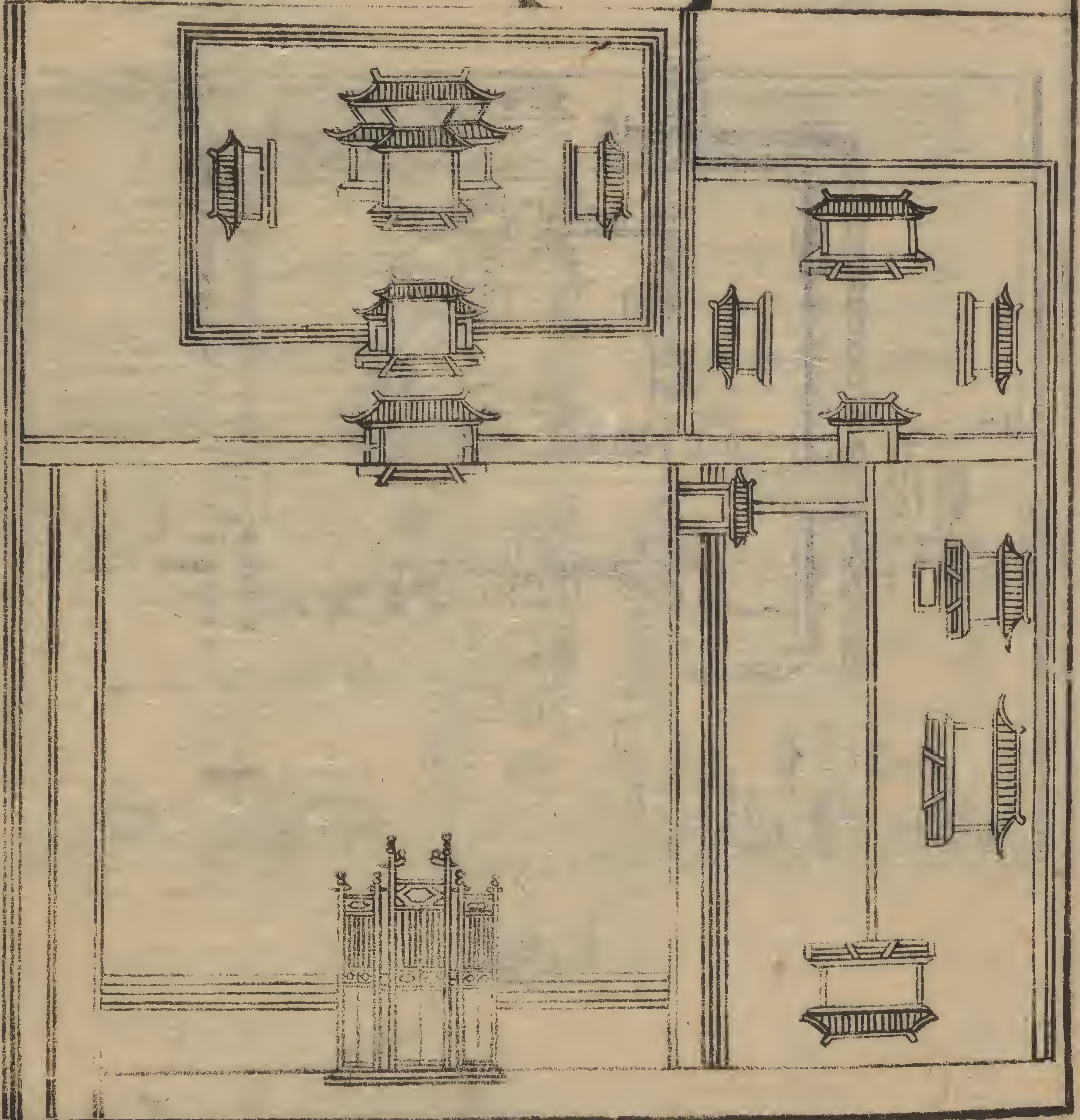
民社祭儀 土地の神を社といふむかし共工の子句龍社神とまつられり 二千五家を一社とし各地に宜き木の樹をうゑ此圖ハ社を祭る儀をあらはし

祠堂 此圖ハ二間の制也 世ぞく家毎にこれを一間となし



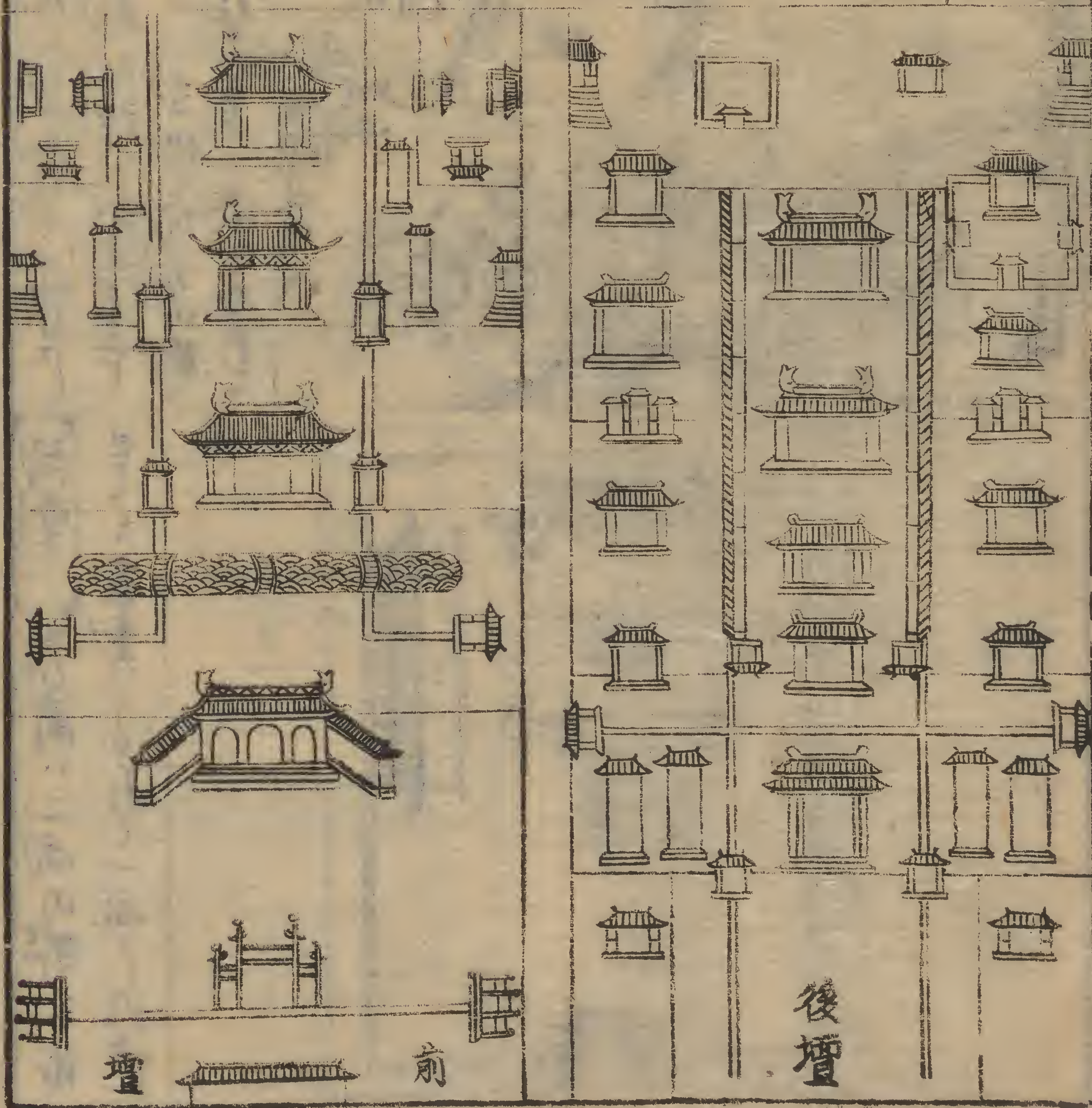
廟（へう おたまや）

これ天子先祖を祀るみたま所なり



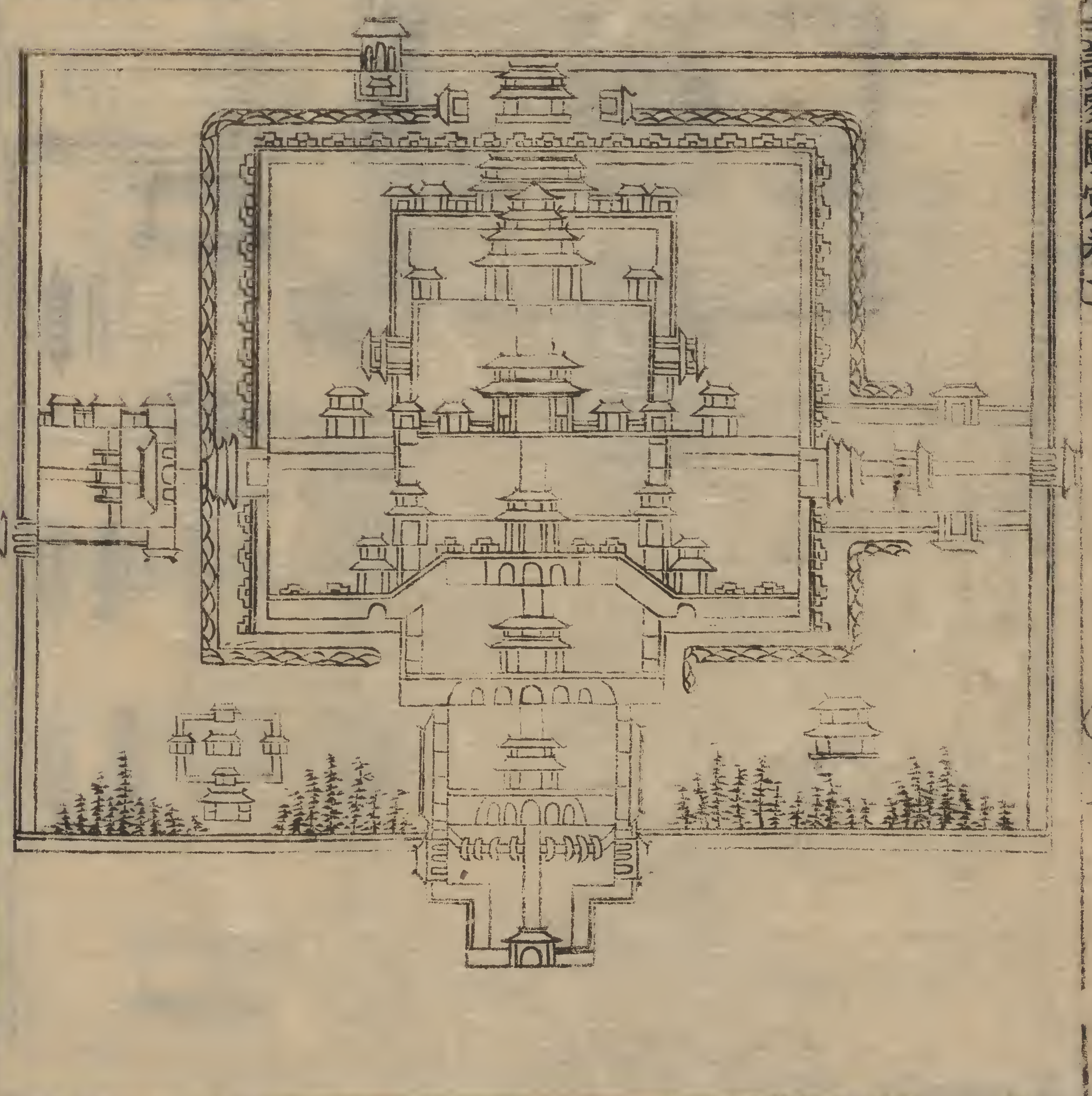
夫子宮壇前後圖

先聖孔子の廟ハ兗州仙源縣の西二里西のかたに魯城に接すること二百歩闕里の舊宅なり殿門の結構ハことごとく記しがたし委ハ聖跡圖闕里志等に見えたればこゝにハ略のミをあらはす



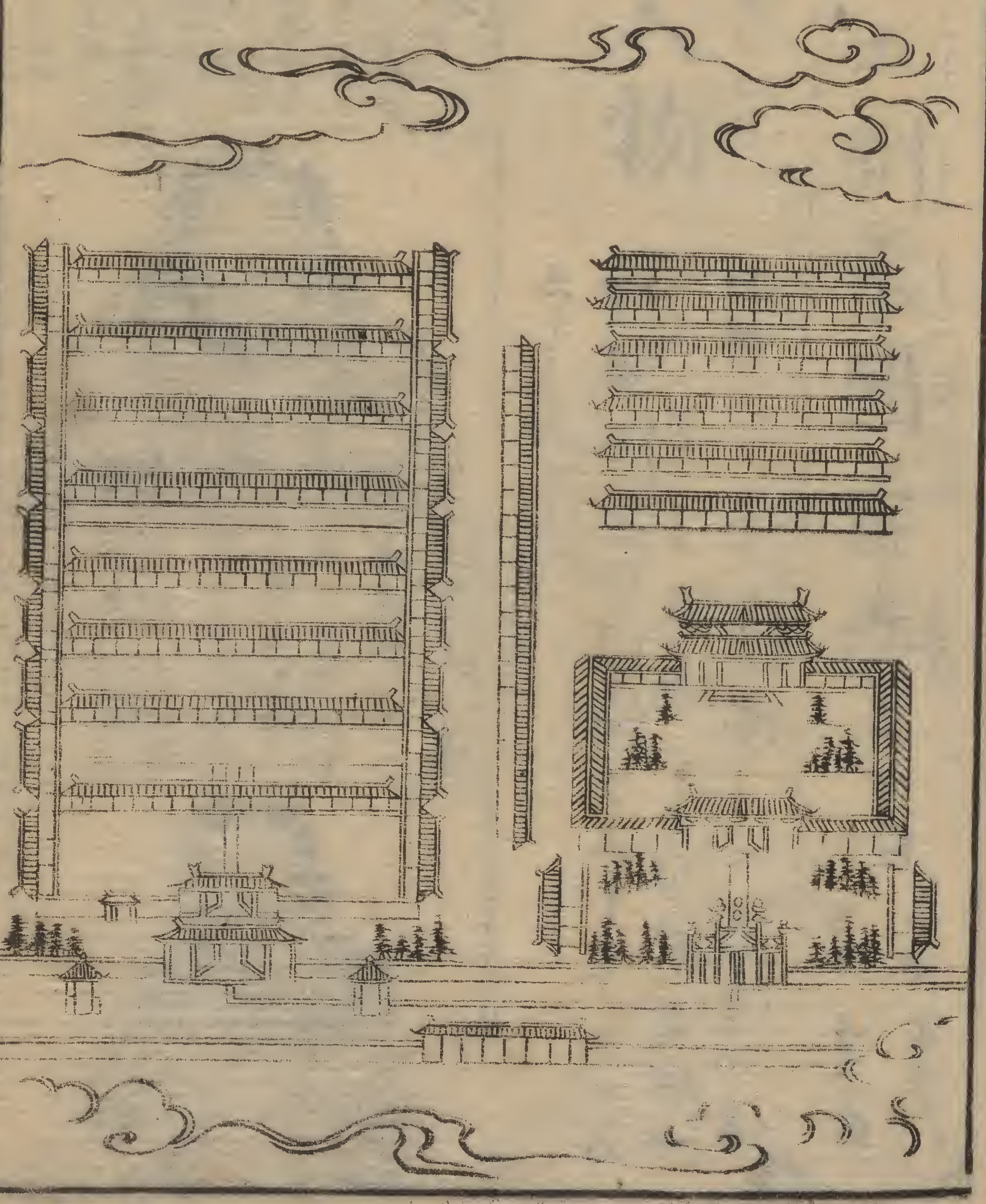
皇城圖

これ天子のかんきよしよにて都の圖今いふ禁裏にし



大學校

大學校 學文所なり



唐土訓蒙圖彙巻之四

人物之上　名の下に和名を附

人物

此部にハ上三皇五帝より君臣の名にわかれそれ圖像およひ佛祖神仙蠻夷戎狄の形容とあらはしてかゝれらしれし

渾沌氏

大荒の代生れてその始をさとすなり天地の始と明らかにし陰陽の道に通じ神あつて靈あるこれを萬物のりしせん

天皇氏

崑崙無外の山より出つ木徳あるを以時五運始ておこる大化始て立て人の風俗真に淳しといつを

地皇氏　雄耳龍門の岳に出つ火徳有道を得て中央に兼立を王

伏羲氏　木徳を以て天に継て王たり八卦をはしめ書契を造る在位一百十一年なり

人皇氏　刑馬山提地の國に出つ土徳あり山川を相て裁て九州となし王

神農氏　火徳を以て王たり天下に耕をおしへ日中に市となし百草をなめて醫藥となし めしたまふ

軒轅氏　黄帝徳を脩め兵を治め蚩尤を誅し天下命に皈涿鹿に都しす在位一百年壽三百歳なり

陶唐氏　帝堯ハ平陽に都しす其仁ハ天のごとく其知ハ神の如し百姓安樂す在位九十八年壽百十八歳也

有虞氏　帝舜ハ蒲坂に都しす父瞽瞍に母嚚弟傲て常に殺んとすれとも孝なり堯帝の禅をうけて在位五十年壽百十歳なり

夏禹王　舜命して水を治めしむ功あり舜位を禅て在位九年壽百歳なり

商湯王 姓ハ子名ハ履夏の桀を伐てより天下をたもてり亳といふ所に都し在位十二年寿百歳なり

周武王 姓ハ姫名ハ発父西伯文王聖徳を以て天下を三分にしてその二をたもてり武王紂を伐天下をたもてり在位七年

楚項王 項籍字ハ羽臨淮の人長八尺二寸力能鼎を扛秦をほろぼし漢の高祖と戦て利あらずして自刎て死にし

漢高祖 姓ハ劉名ハ邦下沛の人秦を亡楚を并て帝位に即ク火徳を以て長安に都ス在位十三年寿五十二

漢武帝 名ハ徹在位五十四年寿七十一古より年號なし此時始ておこなはる武帝こゝろざし神仙をこのみ費あり

漢光武 東漢 姓ハ劉名ハ秀民間より兵をわきて王莽を誅し漢室を中興せり在位三十三年寿六十二なり

漢昭烈 蜀 姓ハ劉名ハ備義兵を起し曹操と戦く漢中王と稱し後即位あり在位三年寿六十三なり

魏太祖 曹操小字ハ阿瞞沛國譙の人漢の獻帝の時義兵をおこし賊を撃功を以て王となり終に漢室をうばへり

呉大帝 姓ハ孫名ハ權魏ノ文帝呉王に封じ位に即て金陵に都す在位三十一年壽七十一なり

晉武帝 姓ハ司馬名ハ炎司馬懿の孫位を簒て自立し洛陽に都し呉と爭て混一にいたる在位二十五年壽五十五なり

梁武帝 姓ハ蕭名ハ衍字ハ小陳兒甚佞を信じ侯景乱を起し臺城を圍て餓て崩ず壽八十六なり

唐太宗 名ハ世民高祖才二の子也太子建成を殺して立て太子となり後に特天下よく治り貞觀の政と稱せらるゝハ此時なり

唐則天皇后 武氏ハ太宗の才人より高宗立て皇后となる高宗崩じて朝に臨ミ中宗を廢して潛立す在位二十一年壽八十一也

唐玄宗 睿宗才三の子也安禄山が乱をおこすにより蜀に幸して位を太子にゆづる事ハ太上皇と稱す在位四十四年壽七十八なり

宋太祖 姓ハ趙名ハ匡胤在位十六年壽五十なり太祖始後周に事て戰功をたて後自ら立て恭帝の禪をうけたり

元世祖 姓ハ孛兒只斤氏鉄木真ハ蒙古部人なり世〻蒙古部の長として威德さかんにして宋を亡して王たり

明太祖 姓ハ朱氏諱ハ元章至正十五年義兵をおこし洪武元年即位在位三十一年壽七十一なり

倉頡 黄帝の時の人也始て鳥の迹よりて字をつくる天これがために粟をふらし鬼よる哭る世人遂に字ハ頡より創まると称る

伯夷 名ハ元字ハ公信といへり弟の叔斉と倶に逃て西伯に皈る武王の紂を伐ときに諫む後首陽山に隠て飢死す

周公 武王乃弟名ハ旦といへり成王の卿と相て政を摂行り武王周公共に聖人なり

太公望 姓ハ姜氏名ハ子牙又呂尚といへり西伯渭陽より逢て車にのせて帰り立て師となり又六韜の兵法をつくる

先聖孔子 名ハ丘字ハ仲尼山東曲阜郷乃人周の霊王二十一年三月四日午時に生る敬王四十一年四月四日午時に薨す七十三魯の泗水の上に葬

顔子 名ハ回字ハ子淵魯人心を潜めて道を體して號して亞聖と称る

曽子 名ハ参字ハ子輿聖門一貫乃傳を得り其学問の本源孝とをしくれ故に孝經を曽子の問也

子思　名ハ伋孔子の孫伯魚の子なり衛に仕へ後退て中庸を作り聖学を演て次で孟子に傳と啓くり

孟子　名ハ軻字ハ子輿魯の孟孫の後鄒人なり業を子思の門にうけ学説を通して齊梁の間に行おゝが其学萬世に明かなり

荘子　名ハ周字ハ子休宋の国睢陽蒙縣の人長桑公を師とし南華仙人と号す著はす所内外篇五十巻九十萬餘言也

屈原　名ハ平楚の同姓にして三閭大夫となる讒に遭て憂愁して離騒を作る汨羅江に沈めり

張良　字ハ子房韓の公子なり圯上老人の書を授く高祖に用られ功成て後赤松子に従ひ穀をさけて身を保てり

韓信　淮陰の人なり漢王壇を築て拝して大将として三秦をさくむ大功をあらはすれとも後讒られて斬死れ

司馬遷　字ハ子長といふ漢の太初中に太史令となる刑にあふて憤を発し史記を修し万代史官の法となる

厳子陵　名ハ光會稽餘姚の人なり幼くして光武と同学なり光武即位して用んとすれども出ずして富春山に耕して居となり

諸葛孔明 諸葛亮字ハ孔明南陽に寓居すわ劉備往てこれを見め終ニ劉氏を助て名臣乃名をあらハせり

関羽 字ハ雲長河東解人なり蜀乃先主に事て恩兄弟のごとし孫権禁てこれをころせり

王逸少 王羲之字ハ逸少将軍会稽乃内史となる上巳の日山陰の蘭亭に会して風流の名あり又古今能書の才一なり

陶淵明 晋の臣なり宋に在て名を易て潜字ハ元亮と名く世ニ靖節先生と号ス詩酒ニ憑る人なり

杜子美 杜甫字ハ子美京兆杜陵の人なり天宝の末賦を奏ス帝これを奇として拾遺の官にたまわり後剣南よりながさる詩人の才一なり

李太白 李氏の母長庚の懐ニ入ると夢みて李白をうめり因これを名く世に謫仙人と称ス杜子と一双なり

韓退之 名ハ愈字ハ退之南陽の人なり学者これを仰ぐこと泰山北斗の如し仏骨表を上て潮州ニ謫せらる

柳子厚 名ハ宗元河東の人世ニ柳柳州と称ス韓柳と并称せらる文章卓偉の進士なり

賈浪仙 賈嶋字ハ浪仙といへり初ハ法乾寺の僧なり世に称る僧ハ敲月下門の句をなせる人なり

白楽天 名ハ居易太原乃人敏悟人に絶す年十七にして進士の第に登るその時乃詩に慈恩塔上題名處十七人中最少年

司馬温公 字ハ君實夏縣の人居茅蕭然として圖書几る盈つその著ル所資治通鑑あり宋朝第一の人物なり

張横渠 名ハ載字ハ子厚長安の人西の洛とわかてる学問力行関中士人の宗師し

邵康節 名ハ雍字ハ堯夫河南の人天文易学の数理に達し世の易を学者皆堯夫をとふといへりその著ル皇極經世書あり

程伊川 名ハ頤字ハ正叔二聖学の正脈を傳ふ孟子の氣象ありといつる所謂天民乃先覚聖代の真儒といへり

程明道 名ハ顥字ハ伯淳伊川の兄なり兄弟ともに賢名あり氣象温和にして顔子に似るといへり

周濂溪 名ハ惇頤字ハ茂叔道州営道の人人品高く胸中灑落光風霽月のごとしと黄山谷がいへり

歐陽永叔 名ハ脩 字ハ永叔 廬陵の人 四にして孤となり家貧く 荻をもつて地に畫て書をまなぶ 宋朝第一の文章なり

陸子静 陸名ハ九淵 字ハ子静 金谿の人 学者象山先生と称ス 語録世に行る その学心を本として禅に似たり 程朱の学と同しからず

朱晦菴 名ハ熹 字ハ元晦 卒して文と諡せらる 孔孟以来の理学を啓き 周程の書を註し 文筆をもつて大成の真儒なり

黄山谷 名ハ庭堅 字ハ魯直 洪州の人 官大史に至る 初李公擇と石牛洞山谷寺に相まみえて常に遊ぶ 故に山谷道人と号す

蘇東坡 蘇 名ハ軾 東坡居士と号す 眉山の人 翰林学士となり 文筆古今に絶れて 畫も亦名家なり

許魯齋 許 謙 字ハ益之 金華の人 学ハ程朱の統をつぐ その外天文地理典章字学医経術数乃説を該すといふことなし

薛文清 名ハ瑄 字ハ徳温 山西河津の人 年十二にして詩賦を善す 進士に登り御史に擢らる 諸生薛夫子と呼へり

王文成 王守仁 字ハ伯安 餘姚の人 数賊をやぶり功あり 学ハ陸象山の后をつぎて心学の宗となり 世に陽明先生と称す

佛神仙類

釋迦牟尼佛

白衣觀音

南海觀音

真武帝君

魁星之圖

丁酉神將臧文公

丁未神將名叔通

丁卯神將名司馬

丁巳神将名崔巨卿

丁丑神将名趙子玉

丁亥神将名張文通

甲子神将名王文卿

甲戌神将名展子江

甲午神将名衛玉卿

甲申神将名扈文長

甲辰神将名孟非卿

甲寅将神名明文童

太上老君

老子のことなり

天駟之神

先蚕元妃西陵氏

蚕の神ハ天駟の星なりといへり蚕ハ
始く黄帝の元妃西陵氏といへる始て
おかひとなしたまふ

西王母

彭祖

東方朔

呂洞賓

張果老

陶弘景

王質

陳圖南

萬国人物
君子国

黒契丹

扶桑國

巴赤舌

包石（ほうせき）

吾家愛達（これくあいたつ）

阿思（あし）

無連蒙古（むれんもうこ）

紅毛（こうまう）　ヲランダ

女暮樂（ちよかうらく）

土麻（とま）

阿里車盧並（ありしやろへ）

乾魚日國（こつみこく）

擺里（ひり）

深烈大（しんれつさい）

大羅國（さいらこく）

釆牙金彪（へいがきんへう）

鐵東（てつとう）

後眼國（こうがんこく）

歇祭（うつさい）

波利

乞黒奚

骨利國

木思奚德

昏吾散僧

方連魯日

黒蒙國

訛魯

三伏駄国

木直変

獠

西洋國

近佛国

烏伏部国

文身国

道明国

義渠国（ぎきょこく）

蘇部識匿國（そぶしきのこく）

乾陀国（けんだこく）

龜玆國（きしこく）

烏孫国（うそんこく）

正瑞国（せいずいこく）

新千里国（しんせんりこく）

擔波国（せんはこく）

撒馬兒罕

サマルチヤ

丁靈国

長脚長臂國

長脚国ノ人ト長臂国ト相近シ其人常ニ長臂ノ者ヲ負テ海中ニ入テ魚ヲトル

唐土訓蒙圖彙巻之五

之下

人物 名の下に和名と附

人物

うゑ蠻夷の種類さまざま多く神怪ふるることわりなしといへども今もなほこれ國としてこれを記しぬ又新明清の人の圖をそへしめたれ

大明

中華前代ノ人物訓蒙圖彙ニ出タルハコレヲ載セ 新考

大明ノ太祖大元ヲ亡シテ國ヲ建ル也後李自成亂ヲ、コレテ終ニ亡フ

大清

韃靼ヨリ大明ヲ亡シテ國号ヲ大清トス日本正保ノ此ナリ

新考

賀蘭

中華ノ西北ナリ此国水ニ乏シク井ヲ深クホリテモナシ故ニ空地ニ陶器ヲウヅメテ雨水ヲタメテツカフ婚姻ニモ先罌瓶ノ数ヲ問定テ相應ニ二三百モ持行也

匈奴

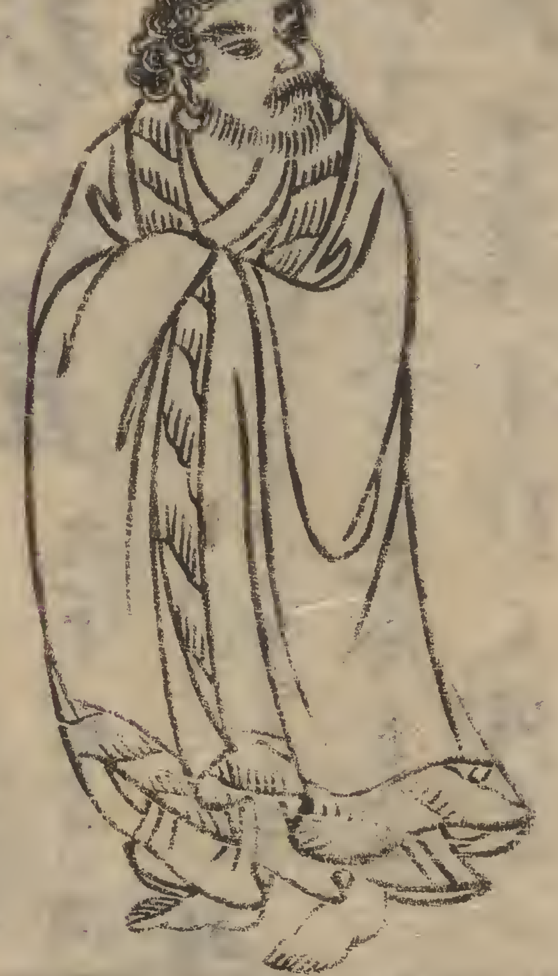
代々漢ニ敵スル国ニ胡国蒙古韃靼ト同シ類ナリ

兀良哈

オランカイ 韃靼ノ属国ナリ

麻阿塔

此地ノ神ヲ舎屋ト云瑤池アリ



日蒙國

国ニ房舎アリ種田姜ヲ出ス

大漢國

兵戈ナシ攻戦セス文身国ト同クシテ言語コトナリ

一目國

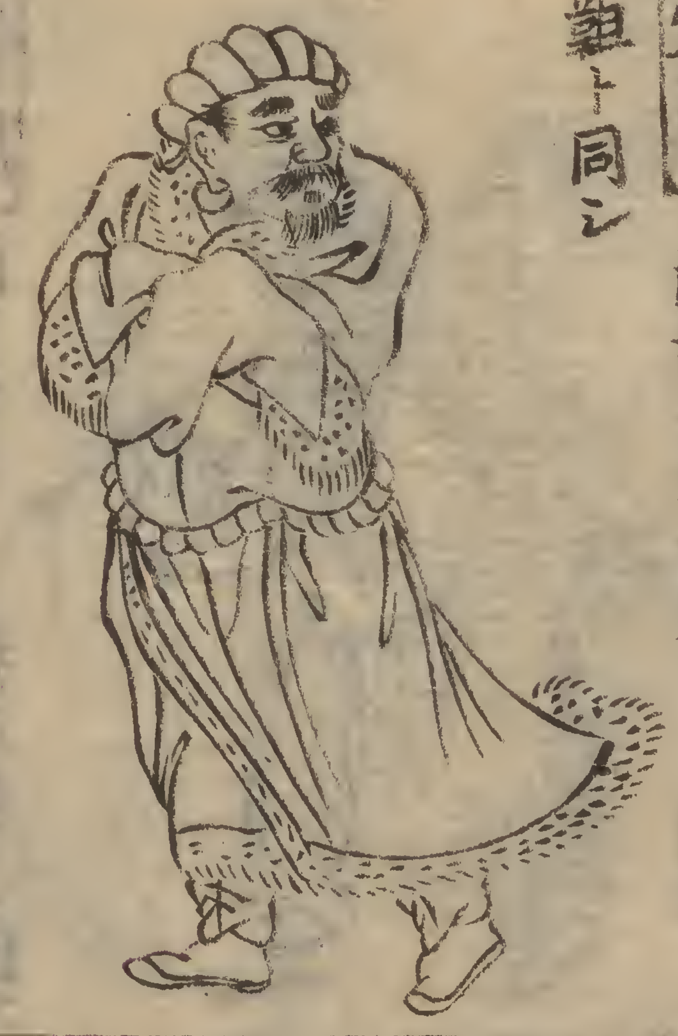
此國北海ノ外ニアリ

婆登国

林邑国ノ東ナリ稲毎月一タヒ熟ス文字ヲ貝葉ニ書ス

的剌番剌国

國ニ瑊池アリ田ヲ穵ニ明珠異寶ヲ出ス



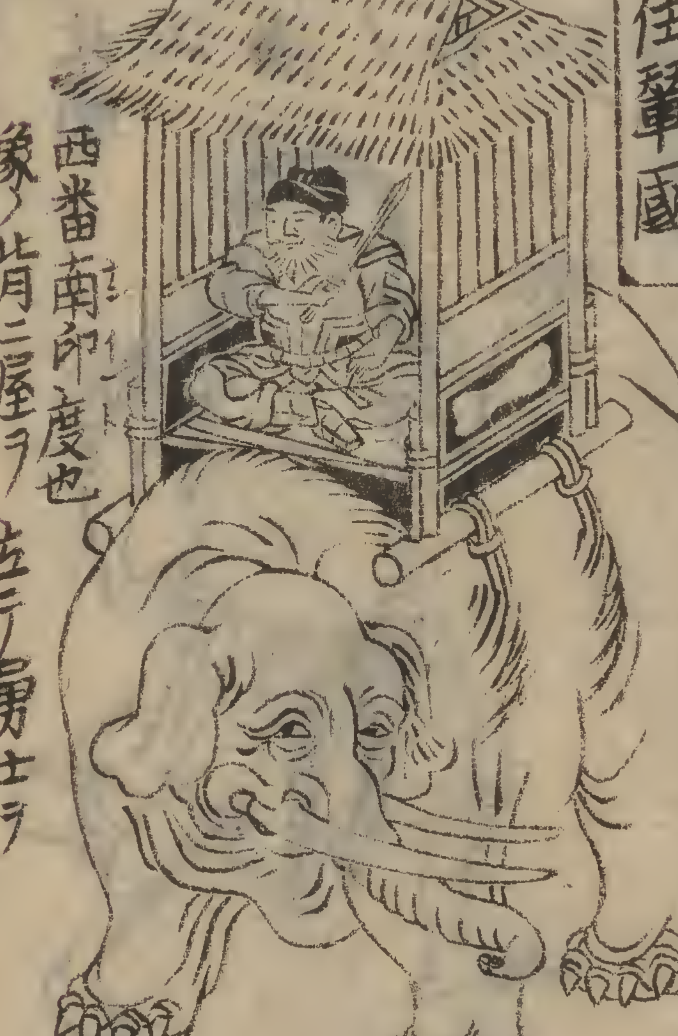
哈密國

韃靼ト同シ

西番火州ノ東ナリ回回

吐蕃

假西蕃ト号ス本西羌



佳䩜國

西番南印度也象ノ背ニ屋ヲ立テ勇士ヲ載ス

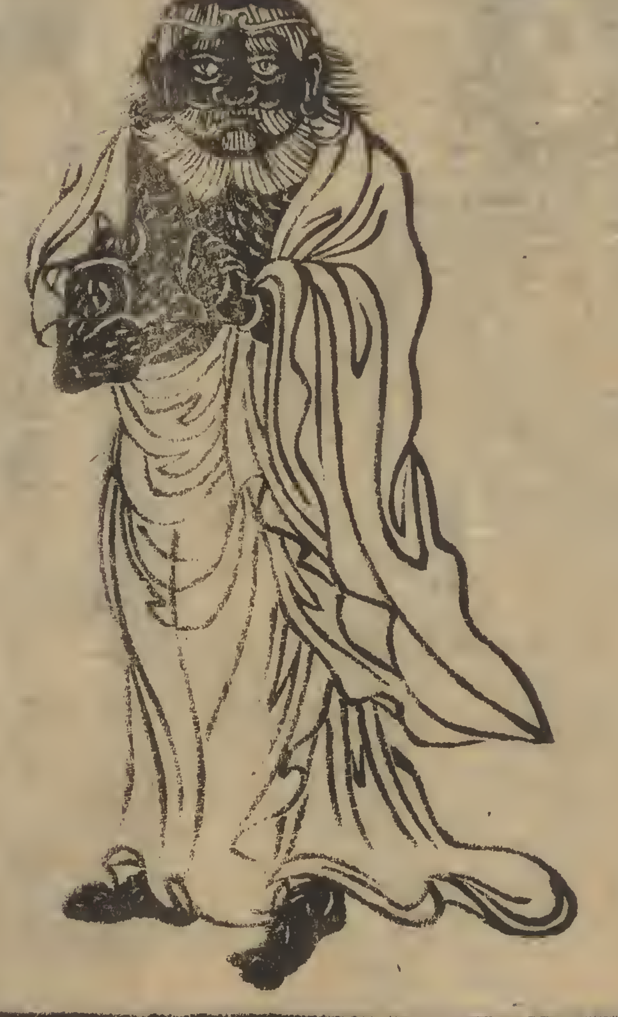
馬羅國

此国異寶生頭香ヲ出ス

野人国

木葉ヲ食フ

此国大山林アリ野人多シ男子モ婦ノ長キ鬚ノ如シ



印都丹

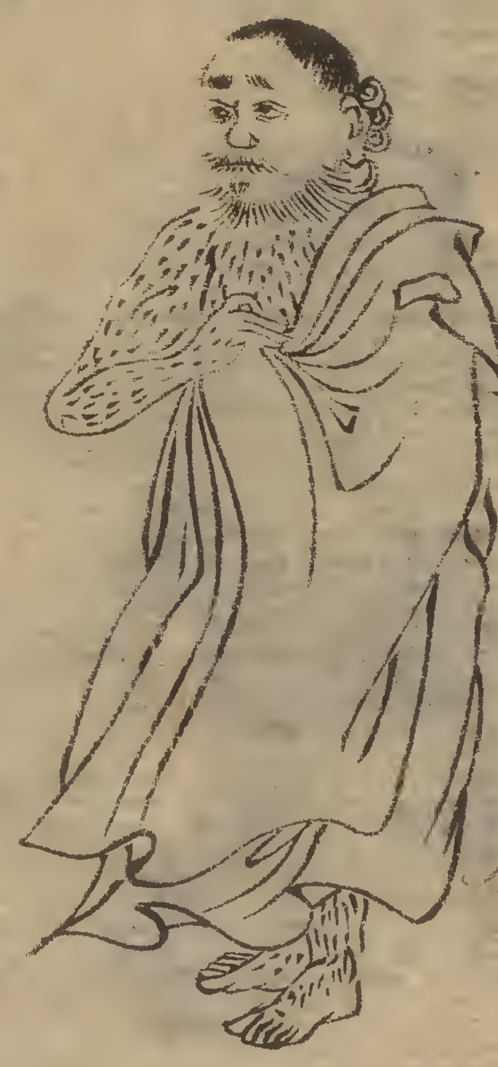
国人身黒色地熱シテ雲ナシ

一臂國

西海ノ北ニアリ其人一目一孔一手ノ一身半体ナリ肩ヲ比ヘテ魚鳥ノ相合カ如シ

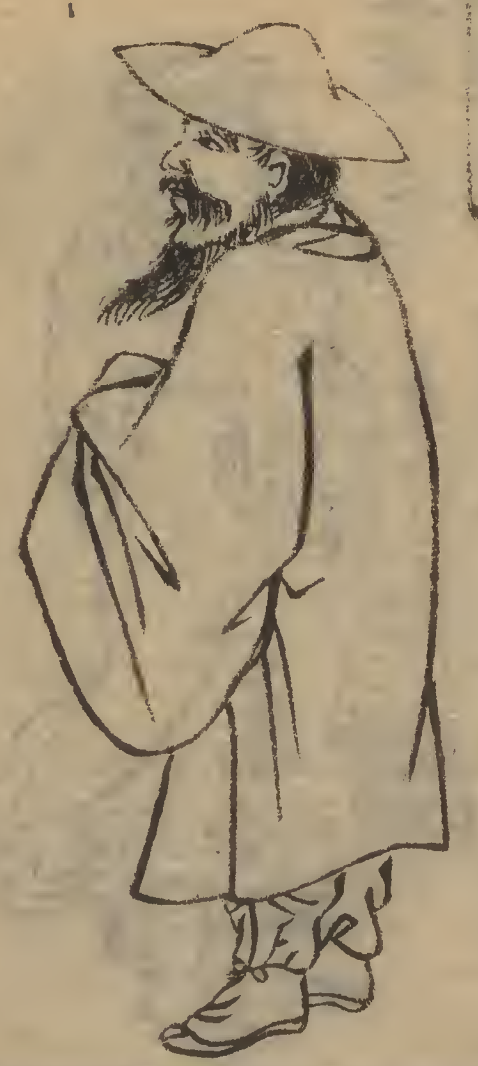
退波係黒和尚

此国城池房舎アリ羊馬ヲ出ス 林木甚多シ



乞番斯山

此地駝牛ヲ出ス 種田アリ



黒暗国

此地犀牛ヲ出ス

悄國

此国西番ニアリ 乳ヲ食テ活トス 應天府ヨリ行テ五月ニ至ル

入不國

此国城池種田アリ 胡椒ヲ出ス

氐人國

建木ノ西ニアリ 其状人ノ面ニシテ魚ノ身ナリ 足ナシ 胸ヨリ上ハ人ニ似 下ハ魚ニ似タリ

猴猻国

一名抹利剌國 若別国ヨリ兵来レハ衆猴コレヲ防ク 法アリ 敢テ来リ侵サストヱ

鳩尼羅国

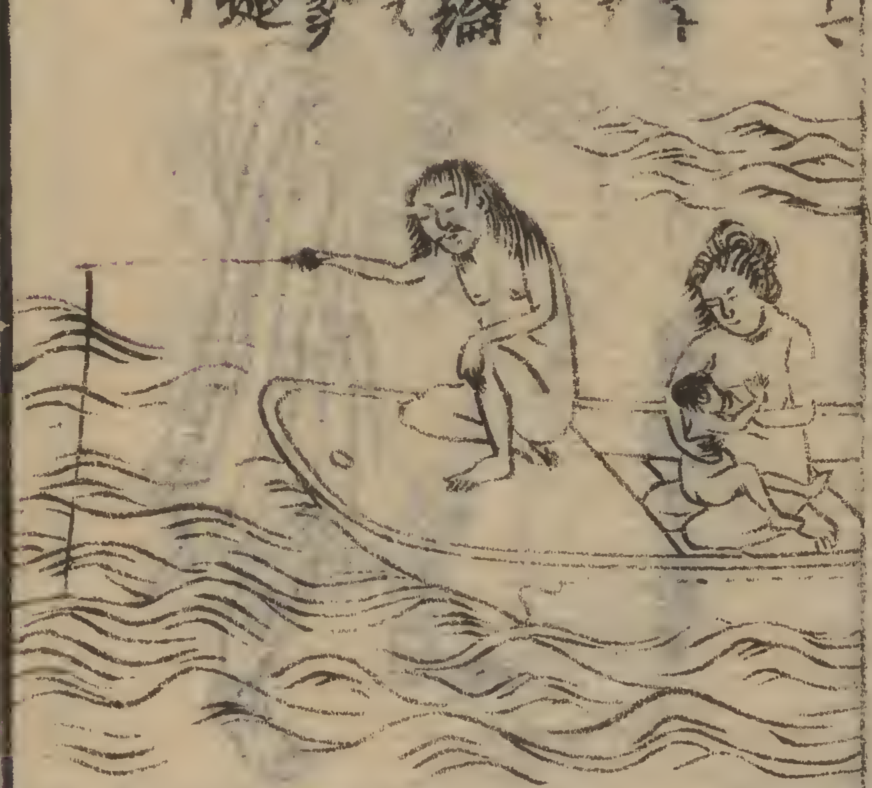
此国乃干西番 佛牙石ノ出ル處ナリ

西南夷

西南夷国ハ髪ヲ椎リ足ヲ跣ニシ斑花布ヲ衣毡ヲ布キ刀ヲ帯ヒ弩ヲ帯ブ

蜑三蛮

此ハ舟ヲ室トス一ニ三種アリ一ヲ魚蜑トス二ヲ蠔蜑トス海ニ没シテ蠔ヲトル三ヲ木蜑トス木ヲ伐リ果ヲトル



西番国

一ハ鬼方トイフ武丁鬼方ヲ伐ツ三年ニシテコレニ克トコレナリ城池房舎ナシ多ハ山林ノ内ニ坐シ人ノ肉ヲ食フ其国人佛ニ奉スル者皆刺麻ト称ス

盤瓠

盤瓠ハ高辛ノ時ノ犬也ソノ時犬戎ヨリ責ケリ其将ノ首ヲ得シ者ヲ婿トセントアリケル二犬呉将軍ノ首ヲ銜テ来ケレバ帝女ヲアタヘラル犬女ヲ負テ南山ニ入リ六人ノ子ヲウムソノ子孫滋蔓シタルナリ

交趾

一名安南

此国人性形ヲ跂髪ヲ剪ミ跣足ニテ醜シ賊盗ヲ尚フ後漢ノ馬援コレヲシタガヘタリ

賓童龍

此地佛書ニ言王舎城ナリ今ハ占城ノ隷ナリ廷主出ル時馬ヤ象ニ騎ル

老撾国

安南ノ西北ナリ古ノ越裳氏也此国人ノ性狼戻ニシテヨロシカラス

真臘国

此地廣州ヨリ船ヲ発シ北風十日ニシテ至ル也此地ノ事ハ真臘風土記ト云ニ詳ナリ

爪哇國

此国東南海嶋ノ中ニアリ飲食木葉ヲ以盛リ手ニテ食フ草虫ノ類皆烹テ食ス

佛囉安國

此国ニ飛来ノ銅神二個アリ六臂ト四臂アリ六月十五日ヲ生日トス

三佛齊国

南海ノ中ニアリ此地ニ犀象珠璣異寶香薬ノ類ヲ産ス泉州ヨリ一月ニシテ至ルナリ

回鶻

匈奴ノ種類ナリ本回紇也唐ノ徳宗ノ時其地ノ鷙鳥捷キ鶻ノ知キヲ以テ回鶻ニ易ラル紇鶻音ノ同ヲ以ナリ

于闐國

此国人死スレハ火ヲ以テ化シ骨ヲ收テ葬ル其塚ハ沙ヲ以テ作ル塚門ヲ守ル者ヲ沙門僧ト称スコレヨリ中国モ沙門ト称ス

沙彌茶国

此地大陽西ニ没ル処ナレハ晩ニ至テ日ノ没ル邑雷霆ノ如シ国王城上ニ人ヲ聚メ角ヲ鳴シ鼓ヲ打テ混雑スサナケレハ小兒驚ク

大食勿抜國

此国多ク乳香樹ヲ出ス皮ヲ斫テコレヲトル

大食弼琶羅國

此国主ナシ豪キ者更ル〱互ニ事ヲ主ル國人猟ヲ好ミ日々ニ獣ヲ射テ食ス

木蘭皮国

此國産スル所麥一粒ノ長三寸瓜ノ圍四五尺胡羊ノ高三四尺尾ノ大サ扇ノ如シ春ニナレハ腹ヲ割脂ヲ取ル數十斤再ヒ腹ヲ縫ハヨク活ルナリ

女人國

此国男ナシ女人井ヲ照ニテ孕ミテ又裸形ニ南風アタレハ孕ムト云

烏衣国

此國ノ人漢人ヲ見レハ背行面ヲ見セシメス コレヲミレハ即コレヲ殺ス

大闍婆國

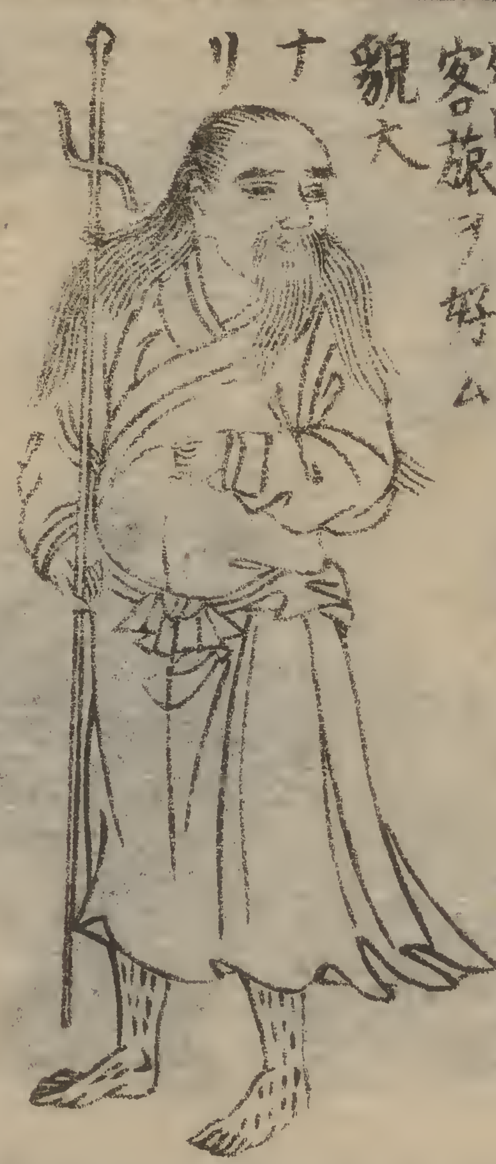
此国綿羊鸚鵡瑜珠寶貝等ヲ出ス

麻離拔國

此地ニ異香珠琢犀角象牙珊瑚等ヲ産ス金銀ヲ銭トシテ交易ス

孝億国

此国人ノ性質ハ直ニナ
容顔ヲ好ム
貌大
ナ
リ
戴具首稍一色アリ



狗國

此国ノ人男ハ狗ニテ身ニ毛ヲ生ヒ衣ヲキズ物イヽ犬ノ如シ女ハ三ナ人ニテ能漢語ヲナス

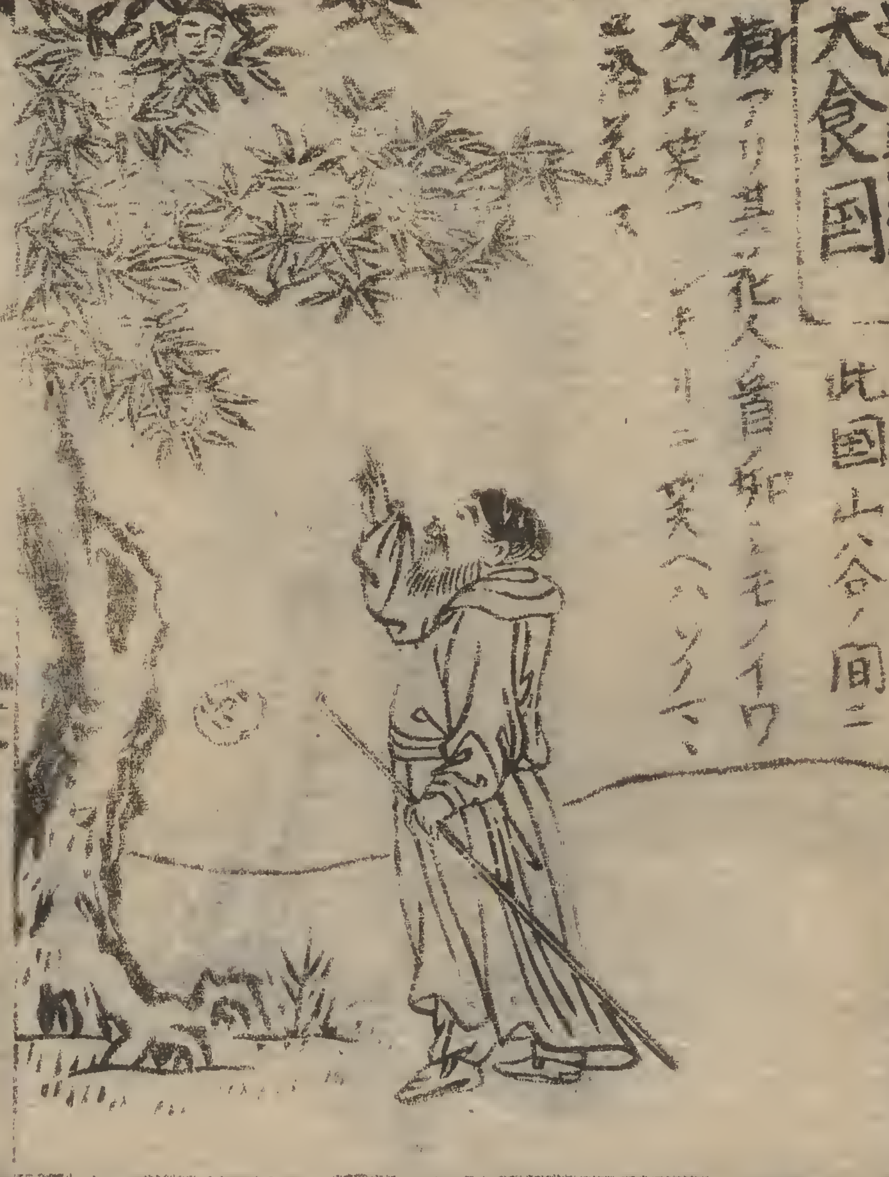
東印度國

此國人性強獷殺伐ヲ好ミ戦死ヲ以テ吉利善終ヲ不祥トス

唐土訓蒙圖彙 巻五

大食国

此国山谷ノ間ニ樹アリ其花人首ノ如ニモノイワズ只笑フ一シキリニ笑ヘハソノママ落花ス



默伽国

大食國ノ西ニアリ

祖師蒲羅吽ト云人ノ妻荒野ニ在テ男子ヲ生ス洗フ水ナシ大地ニ棄テ水ヲ尋テ水ナシ立回テコレヲミレハ脚ヲ以テ地ヲスルソレヨリ一ノ泉湧出テ甚清シ

訶陵国

此国ノ人木屋重閣ヲ造リ椶皮ヲ以テ蓋フ酒食ヲ以テツヽミ食フ

晏陀蠻国

此国ノ人身黒漆ノ如シ山蠻ト号ス人ヲ食フ故ニ船人敢テ岸ニ近ツカス

勿斯里國

此國雨フラス天江アリテ溢ルル時ハ四十日田ヲ浸ス水退テ耕ス老人水ヨリ出テ吉凶ヲ人ニ告ルト云リ

南尼華羅國

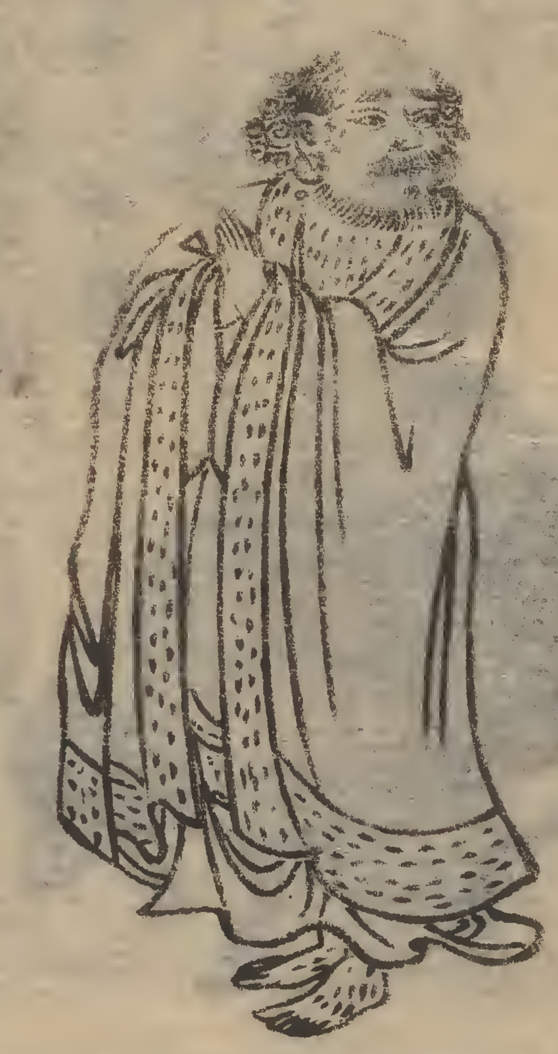
此国ハ佛教ヲタットニ牛ヲ尊フ牛ノ糞ヲ以テ屋壁ヲヌル

大食勿斯離国

此国ノ山ニ天生ノ果樹アリ蒲盧ト名付ク採リ食ヘシ其外産多シ

馬耆國

毎歳十二月甲ヲキル者ト衆人トタヽカハシメテ年ノ豊倹ヲトロフ



可只國

コレ西番寶物ヲ出ス処ナリ

婆羅國

此国男女皆刀ヲ佩テ行人ヲムツミシカラサレハ剌殺シテ他所ニハシル一月ノ外ニナルトキハカヘニヒナレ

不剌國

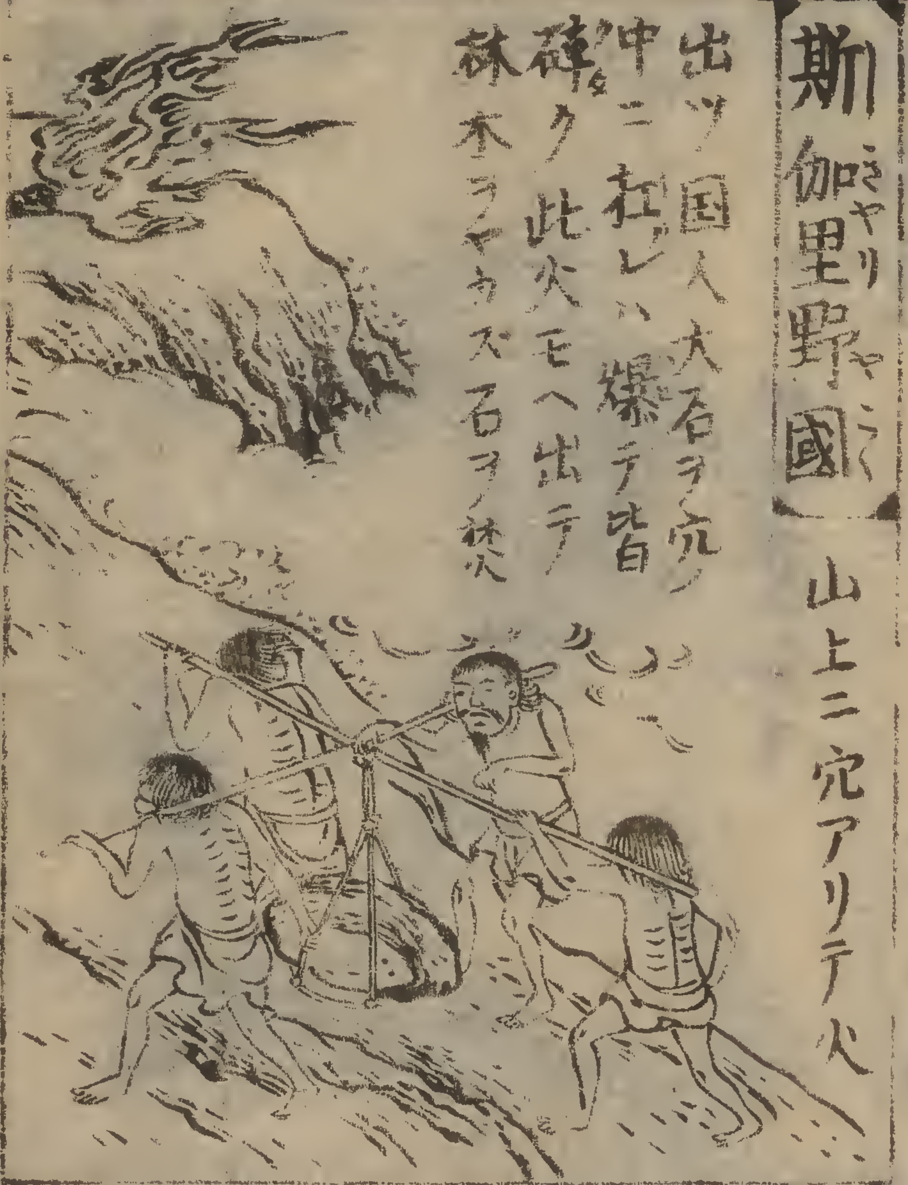
西番ノウチ羊馬ノ出ル処ナリ

三首國

此国夏后啓ノ北ニアリ

三身国

一首三身ナリ鑿歯国ノ東ニアリ其人



斯伽里野國

山上ニ穴アリテ火出ツ国人大石ヲ穴ノ中ニ投レハ爆テ皆砕ク此火モヘ出テ林木ヲヤカズ石ヲ焚ク

蒲甘国

其国王金冠ヲ戴キ金銀屋ヲ飾ル

莆家龍

海東南ニアリ国人ニナ頭ヲ剃ル此国胡椒檀香沉香丁香白豆蔲ヲ出ス

羽民国

海東南崖嶮ノ間ニアリ毛羽ヲ生ジテ飛ドモ遠ク飛コトアタハズ人ニ似テ卵生ス

都播国

此国ハ鉄勒ノ別種草ヲ結テ廬トス耕作ヲシラズ百合ヲトリテ食トス貂鹿皮鳥羽ヲ服トス

層斯期國

西南海ノ上ニアリ野人身黒ク漆ノ如シ番商奴トナシテヨク忠ス

聶耳國

無腹国ノ東ニアリ其人ノ身虎文アリ耳長クシテ腰ヲスグ行トキハ手ニテ耳ヲ捧テ行ナリ

無腹國

海ノ東南ニアリ男ミナ腹肚ナシ

巴遂山

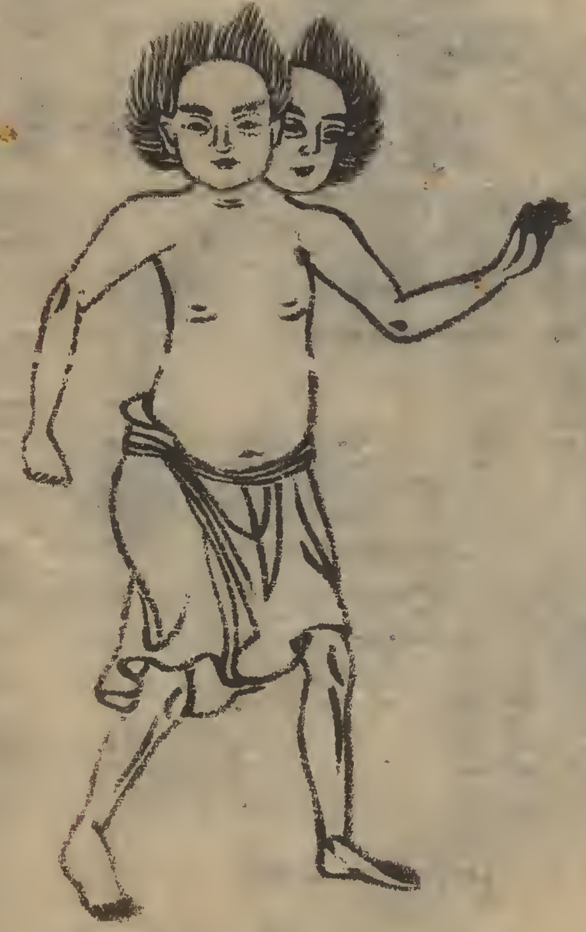
南海内ニアリ黒人虎首ニシテ両手ニ蛇ヲ持テコレヲ啖フ

交脛国

国人脚脛曲戻テ相交ル

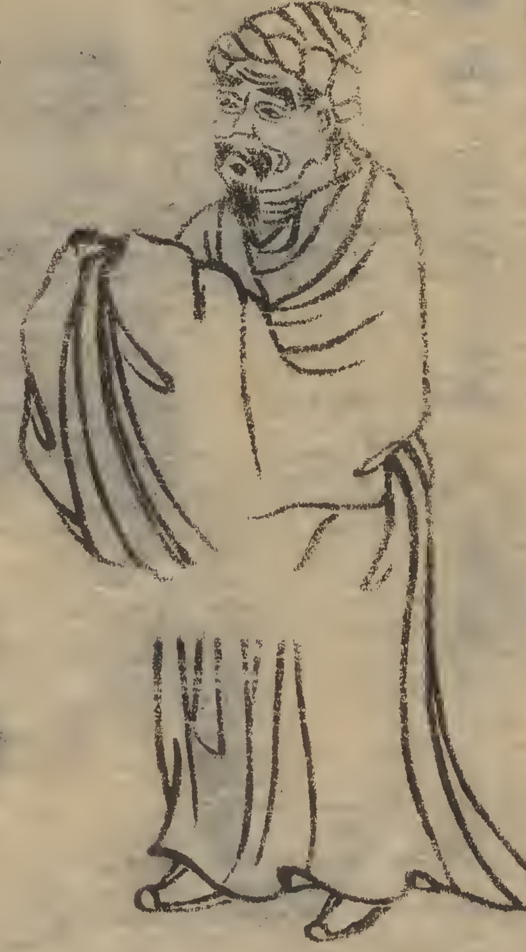
陽霊山神

二首アリ名ケテ驕蟲トイフ此神ノ状人ニ似テ



回回国

国ニ城池宮室田畜市アリ風土ハ江淮ト異ナラス



穿胸国

ム 盛海ノ東ニアリ胸ニ竅アリ尊者ハ衣ヲサリ卑者ニ竹木ヲ以テ胸ヲ貫サシメテコレヲ擡シ

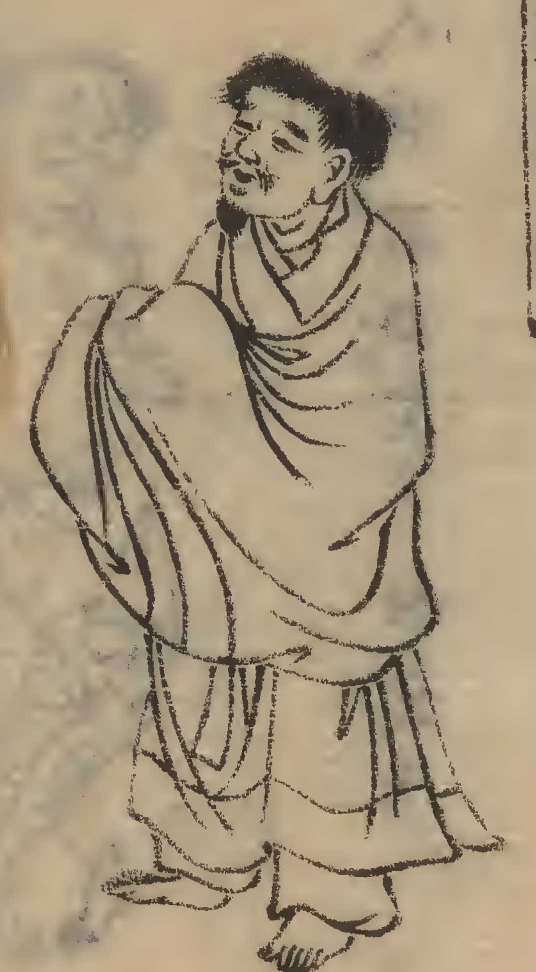
巢魯果訛

巢魯果訛ハ良馬ヲ出ス

此国城池五穀アリ

結賓郎国

国ニ城池種田アリ黄頭仙人成道セシ処ナリ



沙華公国

国東南海中ニアリ其人常ニ大海ニ出テ人ヲ掠レトラヘテコレヲ傑闍沙国ヘ賣ナリ

阿黒驕

此国人魚ヲ取テ活トス

国ニ馬ナシ

阿薩部

国人猟ヲナシ其肉ヲ重畳テ石ヲ以テヲシ汁ヲトリ米及ヒ草子ヲ肉ノ汁ニ醸シテ酒トナスコレヲ飲ハ酔フ

長毛國

此国人身ニ長毛アリ城池種田アリ

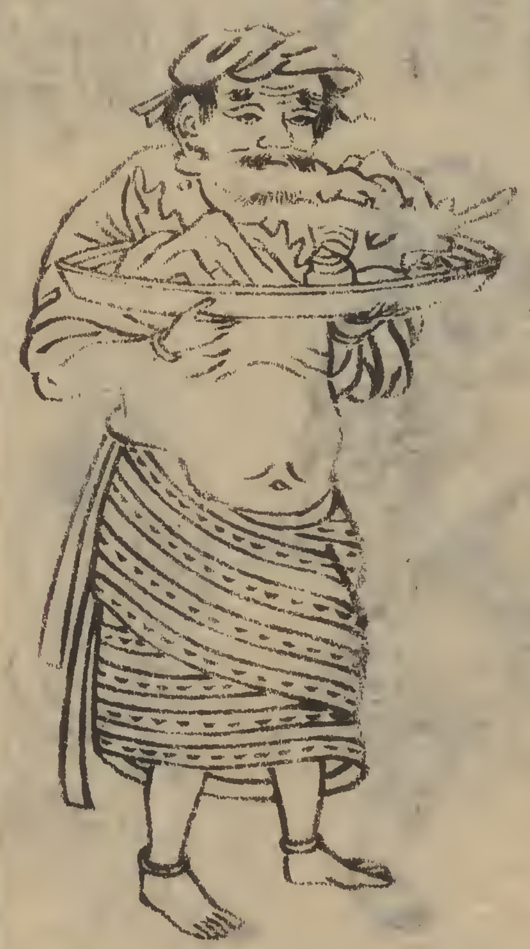
晋ノ永嘉四年此人ヲ獲タリ

大秦國

西方ノ番商コヽニ萃ル其王帝帛ヲ以テ金字ヲ織出シテ纏頭トス此地ニ珊瑚ヲ生ス

白達國

此国珍寶多シ酥酪餅肉ヲ食フ魚菜少シ金銀玻璃ヲ産ス人雪布ヲ以テ頭上ヲ纏フ



繳濮国

永昌郡南千五百里ニアリ国人尾アリ坐スルトキハ先地ヲウガチ尾ヲヽサメテ後ニ安坐ス人其尾ヲ折レハ卒然トメ死ス

單馬令

宋ノ慶元二年ニ金三層金傘一柄ヲ此国ヨリスヽム国ニ地主アリ

柔利國

此国一目国ノ東ニアリ国人膝ヲ曲テ前ニ向フ一手一足アリ

黙伽臘國

国ニ主アリ珊瑚樹ヲ出ス鉄ノ網ヲ以テトルト云処ナリ

滅吉里

国人言語韃靼ニ似タリ應天府ヨリ四箇月ニ至ル

吉慈尼國

此国ノ地西北極ニ近シテ寒シ畜牧駝馬多シ

頓遜國

国海島上ニアリ

奇肱国

国人ヨク飛車ヲツクリ風ニ従テ遠行。湯時車ヲ以テ西風ニ乗シ豫州ニ至ル湯其車ヲ破ル

訶條国

金遼山ニ石鼇アリ人モシ廟ニ飲食ノ盡ナントスルトキコレニ向テ礼ヲナストキハ飲食悉ク具ル

故臨国

国人黒色ニシテ弓ヲ帯中国ノ人船ニテ往ハ大食ノ人必コヽヨリ小舟ニ易テ乗去ル

隴木節

昔日畨王ノ子都ヲ建テ百姓住ス應天府ヨリ馬ニテ半年ニ行ナリ

三蠻國

此国ノ民土ヲ食フ死スル者埋メトモ心肝朽スメ後ニ復化シテ人トナル

登流眉国

此国ノ人手ヲ交ヘテ両膊ヲ抱テ礼ヲナス

無脊國

此国ノ人肚腸ナシ土ヲ食フ穴ニ居ス死シテウツメハ心朽スメフタヽビ人トナル

不死国

此国人色黒シテ死セス不死樹アリコレヲ食ハ壽シ赤泉アリコレヲ飲ハ不老

烏萇國

此国ノ民死罪アレハ殺サスコレヲ空山ニウツス事ノウタカハシキコトアレハ薬ヲ服スレハ清濁自ラ験アリ其事ノ軽重ニ随テ決断スルナリ

懸渡國

此地山溪不通土人石ヲ壘テ室トス水ヲ飲ニ相引テ手ヲ接ヘテ飲セ

波斯国

此国人身ノ色黒シ金花布ヲ以テ身ニ纏フ王ハ虎皮ヲ以テ身ニ蒙フ出ルトキハ軟兜ニ乗ル

撥抜力国

此国人五穀ヲ識ス肉食ヲナス常ニ牛ニ針シテ血ヲトリ乳ニ和シテ生ヲノム身ニ衣ナシ腰ヲ羊ノ皮ニテ掩フ

婆羅遮國

此国人狗ノ頭猴ノ面ヲ並ヘ服テ男女晝夜歌舞ヲナス

毘吾国

此国寶鉄ヲ産スコレヲ刄トナセハ玉ヲ切ルコト泥ノ如シ

五溪蠻国

此国人父母ノ死ニ遇テ鼓行踏歌シ親属アツマリ飲噉家産ヲ盡シテ擲ヲツクル

眉路骨國

此国七重ノ城アリ黒光ノ石ヲ用テ砌トス毛毯ヲ衣トシ肉麪ヲ食トス金銀ヲ錢トス

麻嘉國

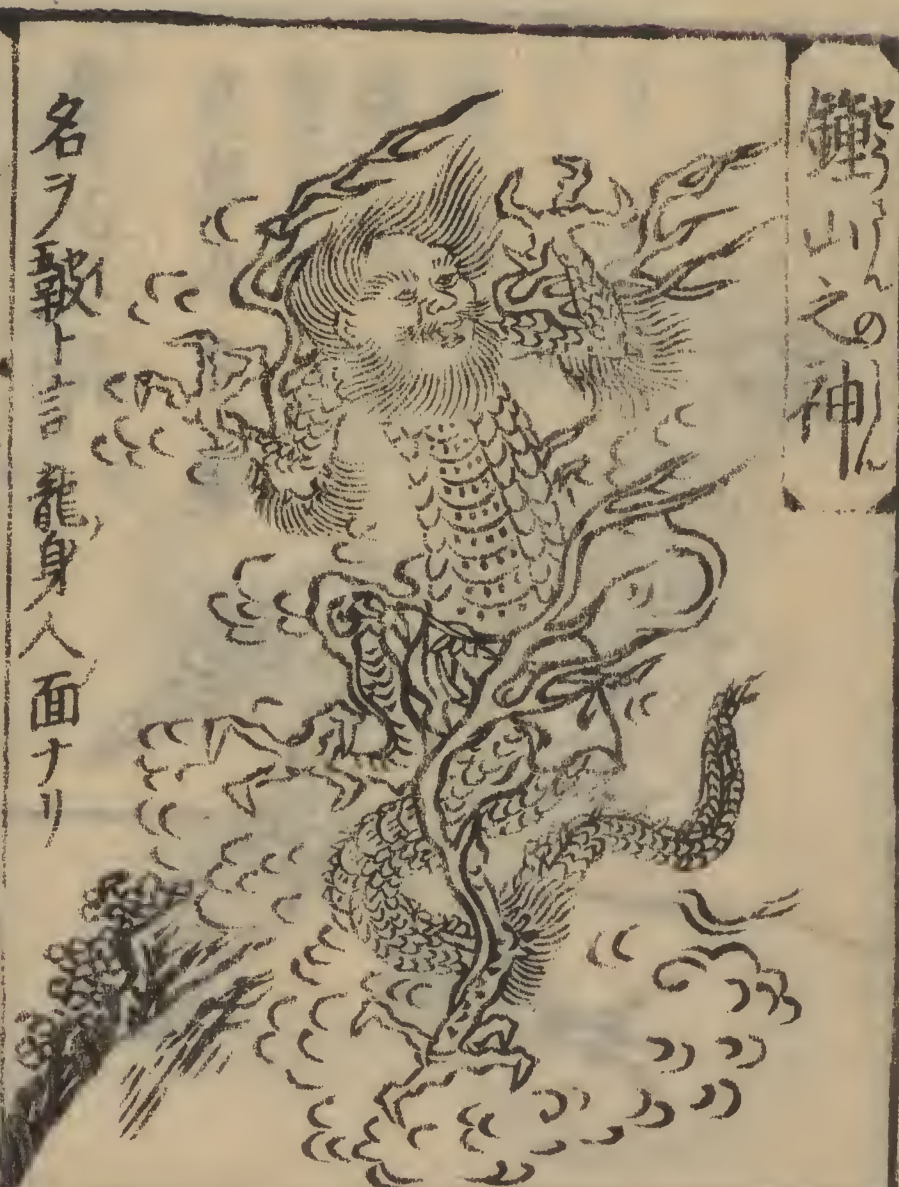
此國土人麻霞出世ノ處其国神ト称シ佛トス毎年皆来テ廟ヲ拜ス

藏國

此国城池屋舎アリ地ニ大柳樹ノ産ス

登山之神

早耳ノ水ニ俞兒ト云者アリ登山ノ神ナリ長一尺餘ニシテ黄冠黄衣朱服シ馬ヲ走シ齊ノ桓公ノ時曾テ見ル西覇王ノ君興レハ俞兒アラハルト云リ



鐘山之神

名ヲ鼓ト言龍身人面ナリ

天呉

朝陽谷之神

水ノ伯トス虎ノ身八面八首八足八尾青黄色ナリ

金神

左耳ニ青蛇アリ両ノ龍ニ乗レリ虎ノ爪ニメ鉞ヲトル

コレ西方ノ神蓐収ナリ

神陸

崑崙丘之神

一名陸吾其状虎ノ身人ノ面九ツノ首九域ノ事ヲ司トル

鵲山之神

其状鳥身龍首古ニコレヲ祠ルノ礼璋ニ璧ヲ献セリ

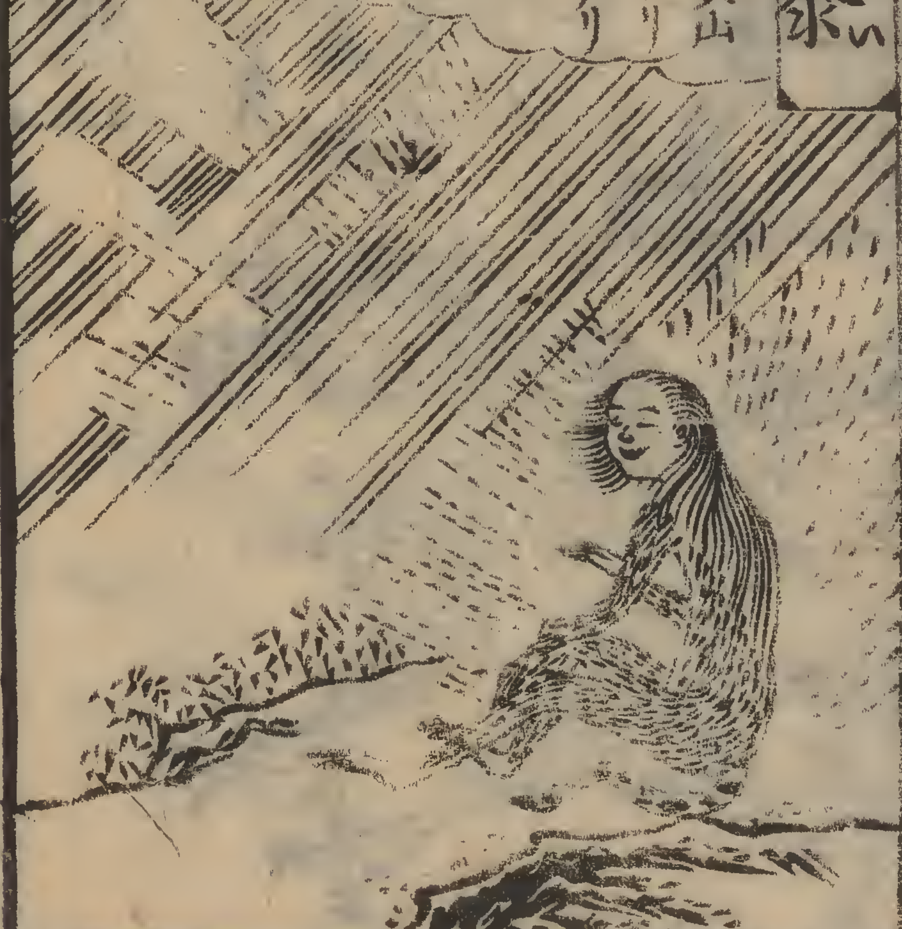
燭陰

北海外鍾山ノ神ナリ

身ノ長百里人面龍ノ身赤色ナリ

縫泰

此神萯山ノ陽ニ居リ出入光アリ此神天地ヲ動ス甚変ス霊ヨク雲ヲコシ雨ヲフラス



相柳氏

崑崙ノ北柔利ノ東ニアリ共工ノ臣ナリ九首人面蛇身也

天山之神

状皮嚢ノ如シ背上赤黄火ノ如ク六足四翼面目ナシ名ヲ帝江トイフ

大者北之尸神

大人國ノ北ニアリ獣身人面蛇耳ヲ貫ケリ

強良

大荒山北極ノ外ニアリ口ニ蛇ヲ銜ム其状虎ノ首人ノ身四蹄アリ